

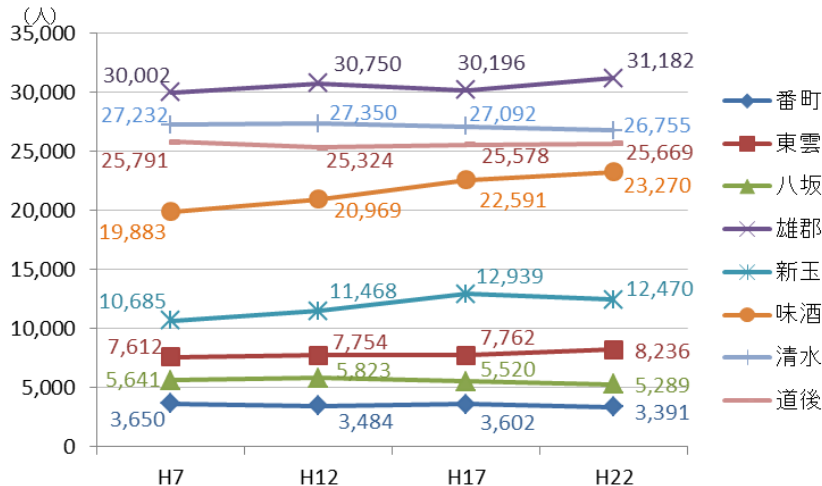
第5章 地域別実態把握

第5章では、9地域ごとの特徴を整理するとともに、各地域に分布する施設の実態を把握するため地域実態マップ、施設リストを整理しています。

1. 都心地域（構成地区：番町、東雲、八坂、雄郡、新玉、味酒、清水、道後）

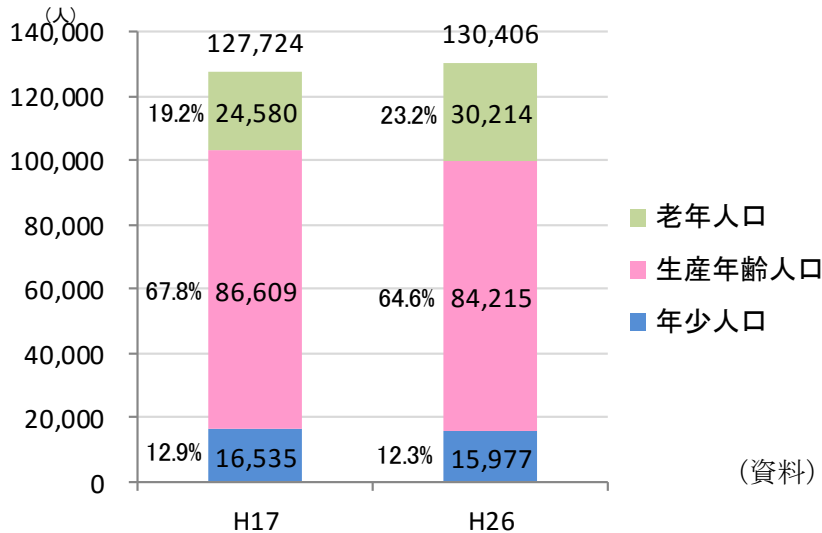
- ・松山市の都市機能が集中し、JRや伊予鉄道市内電車・郊外電車、バス等の公共交通が充実している地域です。
- ・特に松山城周辺地域は都市機能の集積度が高く、高度な土地利用が行われており、都心商業地として位置づけられます。また、道後温泉周辺は歴史ある地区で観光ホテル街として高度利用されている一方、地域住民が住む居住地でもあり、市民、来訪者が共に快適に過ごせる魅力ある観光地の形成が必要とされます。
- ・地域の将来像として「四国の顔となる都心として、賑わいあふれるまち」を掲げています。
- ・まちづくりの方向性として、観光や商業の活性化を通じた賑わいづくりもさることながら、多くの市民が居住するエリアでもあることから安全・快適な居住空間の形成も求められます。

【地区別人口推移】



(資料) 国勢調査

【年齢別人口】



(資料) 住民基本台帳登録人口

都心地域のまちづくり方針図

【地域の将来像】

四国の顔となる都心として、賑わいあふれるまち

【地域づくりの将来目標】

魅力ある商業・観光・居住空間の形成

人や環境にやさしい道路・交通の充実

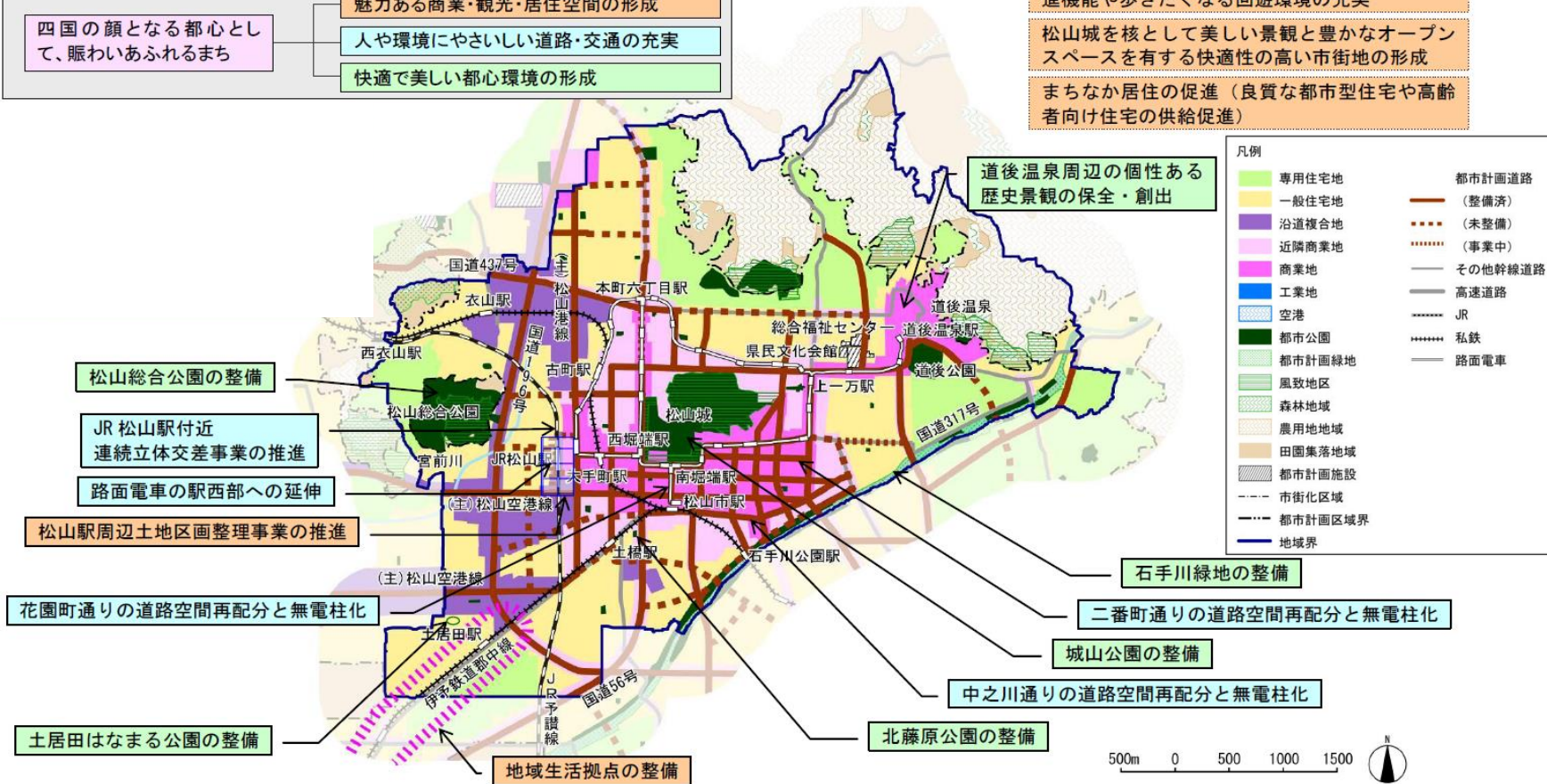
快適で美しい都心環境の形成

都心機能の充実（高次の商業業務機能や観光・国際交流機能の集積強化）

医療・福祉・子育て支援・多世代交流・健康増進機能や歩きたくなる回遊環境の充実

松山城を核として美しい景観と豊かなオープンスペースを有する快適性の高い市街地の形成

まちなか居住の促進（良質な都市型住宅や高齢者向け住宅の供給促進）



(資料) 松山都市計画マスタープラン

		中心部											
		都心 (面積: 21.97km ² / 人口: 136,625人 / 人口密度: 6,219人/km ²)											
		番町	東雲	八坂	雄郡	新五	味酒	清水	道後				
		面積: 1.38km ² / 人口: 334人 人口密度: 242人/km ²	面積: 1.21km ² / 人口: 832人 人口密度: 704人/km ²	面積: 0.57km ² / 人口: 5,100人 人口密度: 8,947人/km ²	面積: 3.69km ² / 人口: 31,733人 人口密度: 8,600人/km ²	面積: 2.29km ² / 人口: 12,640人 人口密度: 5,507人/km ²	面積: 2.29km ² / 人口: 23,078人 人口密度: 7,903人/km ²	面積: 3.69km ² / 人口: 26,856人 人口密度: 7,280人/km ²	面積: 6.29km ² / 人口: 33,948人 人口密度: 5,399人/km ²				
広域対応施設	庁舎等	【本庁舎】 S49年/21,176m ²			【清掃基地(清掃事務所)】 S60年/3050.71m ²	【第4別館】 S31年/4,220m ²		【検印所】 S54年/913.29	【道後支所】 S55年/329m ²				
	消防施設			【城東支署】 H14年/999.55m ²	【救急ワークステーション】 H27年/220.29m ²		【防災センター】 H12年/936.58m ²	【消防局・中央消防署】 S50年/3,661.99m ²	【東消防署】 S62年/2094.32m ²				
	環境関連施設				【まつ中まRe+再発館】 H14年/995.32m ²								
	文化施設	【松山市民会館】 S40年/9,949.4m ² 【坂の上のミュージアム】 H18年/3,122.83m ²							【子規記念博物館】 S55年/7087.76m ²				
	観光施設	【松山城】 西暦1627年/3,122.83m ² 【城山公園】 R-ゾーンのS38年 D1-541年 R-ゾーンのS38年 / 2,831.44m ²	【松山城喜多町駐車場】 H5年/874.55m ² (平面駐車場)					【東中庭】 H14年/125.31m ²	【一草庵】 S28年/88.97m ²				
	スポーツ・レクリエーション施設					【総合コミュニティセンター】 47,898.87m ² (中央体育館含む) R-ゾーンのS38年 D1-541年 R-ゾーンのS38年 / 2,831.44m ²		【松山総合公園】 S45年/3,128.35m ²	【月島公園テニスコート】 S28年/111.54m ²				
	公園施設	【城山公園環之内地区】 H21年/542.36m ² 【城山公園丸之内地区】 H27年/148.00m ²											
	図書館					【中央図書館】 S62年/5,617m ²							
	福祉関係施設							【保健所】 H12年/500.85m ² 【総合福祉センター】 H3年/990.88m ² 【保健センター】 S61年/2048.95m ² 【魚島児童センター】 H13年/709.89m ²					
	地域対応施設	幼稚園											
小学校		【番町】 S29年/5,270m ²	【東雲】 H28年/7,243m ²	【八坂】 S43年/5,046m ²	【丸の内】 S49年/8,031m ²	【雄郡】 S41年/8,974m ² 【東雲】 H19年/11,417m ²	【新五】 S35年/6,262m ²	【味酒】 S49年/10,232m ²	【清水】 S32年/6,957m ²	【雄山】 H17年/12,906m ²	【道後】 S44年/7,875m ²	【湯島】 S40年/5,552m ²	
中学校						【雄新】 S37年/10,333m ² 【城西】 S62年/11,685m ²			【雄山】 S38年/10,235m ²		【道後】 S33年/9,036m ²		
教員住宅													
家その他			【教育研修センター】 H28年/2,554m ²										
社会福祉施設					【丸の内】 S55年/734m ²	【丸の内】 S49年/520m ²	【新五】 S59年/7338m ²						
子育て施設			【東雲】 S54年/841m ² 【八坂】 昭和47年/877m ²					【朝美】 S55年/699m ²	【山麓】 S52年/840m ²		【道後1-2】 H27年/166.46m ² 【湯島】 H6年/232m ² 【湯島2】 H21年/168.48m ²	【道後】 S50年/758m ²	
保育施設			【東雲】 H28年/89.01m ²	【丸の内】 H4年/79.38m ² 【丸の内2】 H28年/110.43m ²	【丸の内】 H4年/84.8m ² 【丸の内2】 H28年/116.64m ²	【雄新】 H4年/84.8m ² 【東雲】 H11年/84.24m ²	【新五】 H4年/100.87m ² 【新五1-3】 H11年/268.16m ² 【新五2】 H11年/395.15m ²	【味酒】 H20年/302.38m ² 【味酒1-2】 H17年/1,044.52m ²	【清水】 S34年/189.5m ² (複合一部)	【雄山】 H7年/113.4m ²			
集会所		【番町】 S47年/662.51m ²	【東雲】 S49年/635.13m ²	【八坂】 S56年/662.42m ²	【雄郡】 S55年/658.8m ²	【小原】 S50年/2,128m ²	【南江戸】 S55年/5,884m ² 【丸島】 S57年/1,944m ² 【生石】 H2年/6,007m ²	【中央・新五】 S62年/806.95m ² -新五公民館(1.2階) -中央公民館(3.4階) -16807.16m ²	【朝美】 S63年/1,307m ²	【三津口】 H20年/4,925m ²	【清水】 H11年/920.83m ²	【清水ふれあいセンター】 H27年/357.32m ²	【湯島】 S55年/708.11m ²
住宅										【高砂】 H24年/5,311m ²	【丸島】 S58年/6,145m ²	【山麓】 S58年/4,719m ²	【湯島】 S63年/3,425m ²
駐輪場・駐車場	【中之川地下駐車場】 S51年/6,194m ² 【二尊町駐車場】 S51年/6,194m ² 【松山市役所地下駐車場・臨時駐車場】 H11年/13,788m ² H28年/2,188m ²					【松山駅前駐車場】 H5年/229m ²							
市場													
その他				【青少年センター】 本館・体育室・S47年 体育館・H6年/10,476m ²		【男女共同参画推進センター】 (連絡センター) H11年/358.332m ²							

大分類	中分類	小分類
庁舎等	本庁舎	本庁舎 第4別館
	支所	道後支所
	事務所	緑町詰所 清掃基地(清掃事務所)
消防施設	消防庁舎 (消防局・各消防署・支署・出張所)	消防局・中央消防署
		東消防署
		城東支署
		防災センター
		救急ワークステーション
環境関連施設	まつやまRe*再来館	まつやまRe*再来館
学校	小学校	番町小学校
		味酒小学校
		八坂小学校
		東雲小学校
		新玉小学校
		清水小学校
		雄郡小学校
		道後小学校
		湯築小学校
		たちばな小学校
	双葉小学校	
	姫山小学校	
	中学校	雄新中学校
		勝山中学校
		東中学校
道後中学校		
共同調理場	城西中学校	
	たちばな学校給食共同調理場	
	八坂学校給食共同調理場 新玉学校給食共同調理場	
住宅	市営住宅	小栗
		南江戸
		大峰
		生石
		朝美
		三津口
		高砂
		本町
		山越
		湯渡
公園施設	総合公園	松山総合公園
	城山公園	城山公園堀之内地区
福祉関係施設	急患医療センター	急患医療センター
	保健センター	保健センター
	保健所	保健所
	福祉施設	総合福祉センター
子育て施設	保育園	道後保育園
		朝美保育園
		東雲保育園
		八雲保育園
		山越保育園
		新玉児童クラブ第1.3
	児童クラブ	新玉児童クラブ第2
		新玉児童クラブ
		雄郡児童クラブ
		東雲児童クラブ
		たちばな児童クラブ
		たちばな児童クラブ第2
		道後児童クラブ
		双葉児童クラブ
		味酒児童クラブ第1.2
		味酒児童クラブ第3.4
		清水児童クラブ
		湯築児童クラブ
湯築児童クラブ第2		
姫山児童クラブ		
八坂児童クラブ		
八坂児童クラブ第2		
各児童館・児童センター	中央児童センター 新玉児童館	
観光・文化施設	図書館	中央図書館
	文化施設	松山市民会館
		坂の上の雲ミュージアム
		子規記念博物館
	松山城	松山城 城山索道(ロープウェイ・リフト) 松山城喜与町駐車場
	道後温泉	道後温泉 本館
		椿の湯 道後温泉駐車場・冠山事務所
	史跡・文化財等	二之丸史跡庭園
一草庵 庚申庵		
スポーツ・レクリエーション施設	体育施設	総合コミュニティセンター 湯月公園テニスコート
駐輪場・駐車場	駐輪場	松山駅前駐輪場 大街道駐輪場
	市営駐車場	中之川地下駐車場 二番町駐車場
		駐車場・駐輪場
	公民館等	公民館
道後公民館(道後支所併設)		
東雲公民館		
番町公民館		
中央・新玉公民館		
雄郡公民館		
清水公民館		
味酒公民館		
ふれあいセンター	清水ふれあいセンター	
その他 市民利用施設	青少年センター	青少年センター
	男女共同参画推進センター	男女共同参画推進センター(通称コムズ)

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
	築45年以上(昭和46年以前)
	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
	築5年未満(平成24年以降)
	避難所指定
	複合化施設

【規模別凡例】

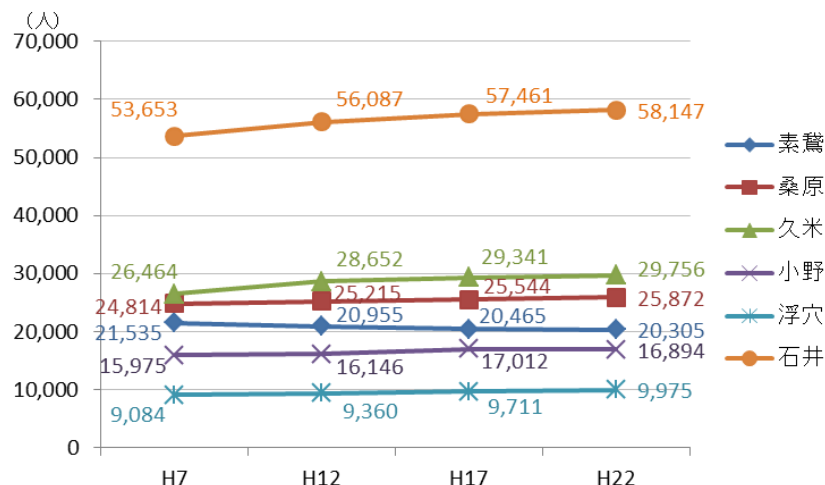
記号	面積
■	~ 100㎡
■	101㎡~
■	301㎡~
■	501㎡~
■	1,001㎡~
■	3,000㎡~
■	6,001㎡~
■	10,000㎡~

*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

2. 南東部地域（構成地区：素鷺、桑原、久米、小野、浮穴、石井）

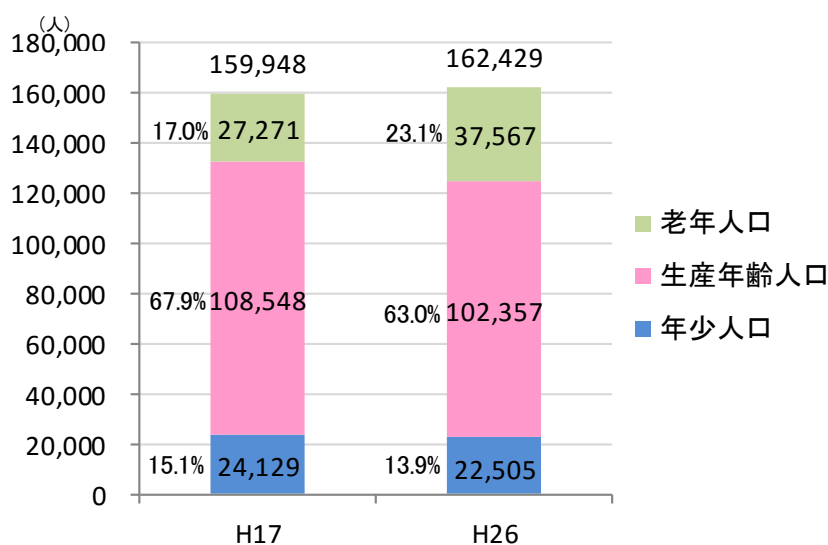
- ・都心地域の南東部に位置し、地域内を重信川や石手川が流れています。地域内の東部は山林や田園地域が広がり、地域内の西部はいよ立花駅、国道33号沿道及び久米駅周辺に住宅地が集中する地域です。
- ・都心部に隣接している立地から、人口が平成7年度から平成22年度にかけて9,000人以上増加しており、人口増加の大部分が久米駅周辺の久米地区や、石井地区に集中しています。
- ・地域の将来像として「水と緑豊かな生活環境が広がるまち」を掲げています。
- ・まちづくりの方向性として、のどかな田園景観を守り育てるため、優良農地の保全や集落景観の保全を図る一方、人口の増加に伴い、将来の高齢者増加が見込まれることから、交通利便性の向上などを通じて高齢者等が住みやすいまちなか居住の促進が求められます。

【地区別人口推移】



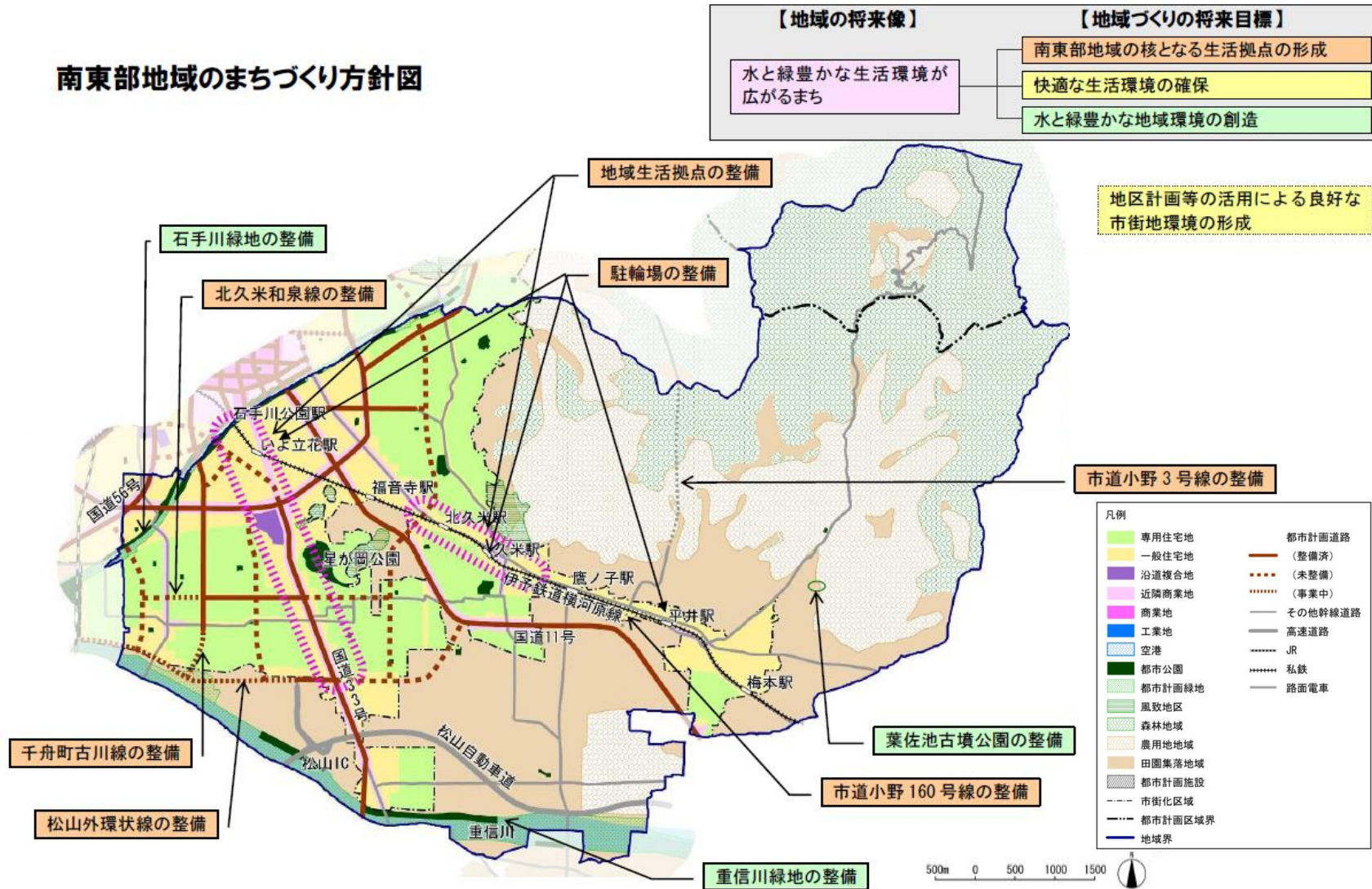
(資料) 国勢調査

【年齢別人口】



(資料) 住民基本台帳登録人口

南東部地域のまちづくり方針図











		周辺部					
		南東部 (面積:59.37km ² / 人口:161,434人 / 人口密度:2,719人/km ²)					
		素戔	桑原	久米	小野	浮穴	石井
		面積:2.23km ² / 人口:19,889人 / 人口密度:8,916人/km ²	面積:4.19km ² / 人口:25,879人 / 人口密度:6,174人/km ²	面積:9.83km ² / 人口:30,239人 / 人口密度:3,077人/km ²	面積:26.59km ² / 人口:17,030人 / 人口密度:643人/km ²	面積:5.90km ² / 人口:9,889人 / 人口密度:1,676人/km ²	面積:8.81km ² / 人口:58,729人 / 人口密度:6,668人/km ²
広域対応施設	庁舎等		【桑原支所】 S46年/128m ²	【久米支所】 S57年/300m ²	【桑原指導センター】 H7年/727m ² 【小野支所】 S81年/1,106.28m ² (管理棟・倉庫)	【浮穴支所】 H3年/238m ²	【石井支所】 S57年/579m ²
	消防施設				【東郷支署】 H6年/598m ²		【南消防署】 H元年/237.75m ²
	環境関連施設						
	文化施設				【桑原古墳ガイダンス施設】 H26年/276.91m ²		
	観光施設						
	スポーツ・レクリエーション施設	【拓川市民運動広場】 S60年/58.4m ²					
	公園施設						
	図書館						
	福祉関係施設	【中村老人福祉センター】 S57年/351m ²	【桑原福祉センター】 H19年/3,028.10m ² (児童館部分698.31m ² 倉)	【久米老人福祉センター】 H17年/1,971m ²	【桑原児童福祉センターひまわり園】 H6年/1,436.19m ²		【桑原センター南部分室】 H21年/1,183.51m ²
	地域対応施設	幼稚園					
小学校		【桑原】 S38年/990.2m ²	【桑原】 S43年/801.1m ²	【桑原】 S46年/861.7m ²	【小野】 S35年/793.3m ²	【浮穴】 S53年/694.1m ²	【石井南】 S54年/841.9m ² 【石井北】 S53年/1,080.5m ² 【石井東】 S43年/883.3m ²
中学校		【拓南】 S36年/905.3m ²	【桑原】 S59年/973.9m ²	【久米】 S51年/979.5m ²	【小野】 S53年/836.7m ²	【南第二】 S57年/957.7m ²	【南】 S46年/918.5m ²
教員住宅							
家							
保育施設		【松山】 S51年/782.2m ²	【桑原】 S62年/996m ²	【久米】 H10年/731m ²	【平井】 S48年/614m ²	【浮穴】 S46年/586m ²	【石井】 S52年/1,479m ² 【つばき】 S49年/1,755m ²
子育て施設		【南宮第1】 H2年/97.2m ² 【南宮第2】 H22年/66.43m ²	【桑原1~4】 H28年/493.12m ² 【南宮児童館】 H19年/685.31m ²	【久米第1】 【久米第2】 【久米第3】 【久米第4】 【南宮】 【南宮】 【南宮】 【南宮】	【小野第1】 H21年/86.69m ² 【小野第2-1】 H27年/272.16m ² 【小野第2-2】 H27年/272.16m ²	【浮穴2】 H27年/168.48m ² 【浮穴】 H14年/113.4m ²	【石井第1】 【石井第2】 【石井第3】 【石井第4】 【南宮児童センター】
集会所		【桑原】 (中村老人福祉センター併設) S57年/804.74m ²	【桑原公民館】 S49年/568.93m ²	【久米】 S57年/805m ² 【桑原ふれあいセンター】 S53年/287.52m ²	【小野】 S50年/1,051.08m ²	【浮穴】 H3年/701m ²	【石井】 S52年/971.79m ² 【吉川ふれあいセンター】 S36年/593.04m ² 【朝生ふれあいセンター】 H28年/399.89m ²
住宅		【全特】 (桑原字記) S32年/95m ²	【桑原】 (桑原字記) S33年/35m ² 【桑原南】 S60年/1,000.3m ²	【久米南】 H4年/218.3m ²	【専力】 H14年/536.1m ² 【大野】 S63年/275.9m ²	【桑原上】 除却予定 S28年/112m ²	【和泉北】 S48年/1,195m ² 【和泉】 S38年/279m ² 【西石井】 S42年/251m ² 【南宮】 S42年/952m ² 【和泉西】 S42年/952m ² 【和泉東】 S42年/952m ²
駐輪場・駐車場							
市場							
その他	市民利用施設						

大分類	中分類	小分類
庁舎等	支所	久米支所 浮穴支所 桑原支所 小野支所 石井支所
	事務所	農業指導センター
消防施設	消防庁舎 (消防局・各消防署・支署・出張所)	南消防署 東部支署
学校	幼稚園	石井幼稚園
	小学校	素鷲小学校
		桑原小学校
		久米小学校
		浮穴小学校
		小野小学校
		石井小学校
		椿小学校
		石井東小学校
		北久米小学校
		石井北小学校
		福音小学校
	窪田小学校	
	中学校	拓南中学校
		久米中学校
		小野中学校
		南中学校
		南第二中学校
	共同調理場	浮穴学校給食共同調理場
久米学校給食共同調理場		
桑原学校給食共同調理場		
松山南学校給食共同調理場		
住宅	市営住宅	松末南
		久米南
		大野
		与力
		森松上(除却予定)
		西石井(除却予定)
		椿野
		和泉(除却予定)
		和泉西(除却予定)
		和泉北(除却予定)
		松末(除却予定)
		中村(除却予定)
		福祉関係施設
福祉施設	鷹子老人福祉センター	
	中村老人福祉センター	
	畑寺福祉センター	
	児童発達支援センターひまわり園	
子育て施設	保育園	松山保育園
		桑原保育園
		久米保育園
		浮穴保育園
		平井保育園
		石井保育園
	児童クラブ	つばき保育園
		石井東児童クラブ第1
		石井東児童クラブ第2
		小野児童クラブ第1
		小野児童クラブ第2,3
		北久米児童クラブ第1
		北久米児童クラブ第2
		素鷲児童クラブ第1
		素鷲児童クラブ第2
		久米児童クラブ第1
		久米児童クラブ第2
		久米児童クラブ第3,4
		石井児童クラブ第1
		石井児童クラブ第2
		石井北児童クラブ第1
		石井北児童クラブ第3,4
		窪田児童クラブ
		椿児童クラブ第1
		椿児童クラブ第2
		浮穴児童クラブ
		浮穴児童クラブ第2
		福音児童クラブ
		桑原児童クラブ第1~4
		各児童館・児童センター
	久米児童館	
	畑寺児童館	
	観光・文化施設	葉佐池古墳
スポーツ・レクリエーション施設	体育施設	拓川市民運動広場
公民館等	公民館	久米公民館(久米支所併設)
		小野公民館
		石井公民館(石井支所併設)
		浮穴公民館(浮穴支所併設)
		素鷲公民館(中村老人福祉センター併設)
	桑原公民館(桑原支所併設)	
	ふれあいセンター	古川ふれあいセンター
		朝生田ふれあいセンター
来住ふれあいセンター		

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
	築45年以上(昭和46年以前)
	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
	築5年未満(平成24年以降)
	避難所指定
	複合化施設

【規模別凡例】

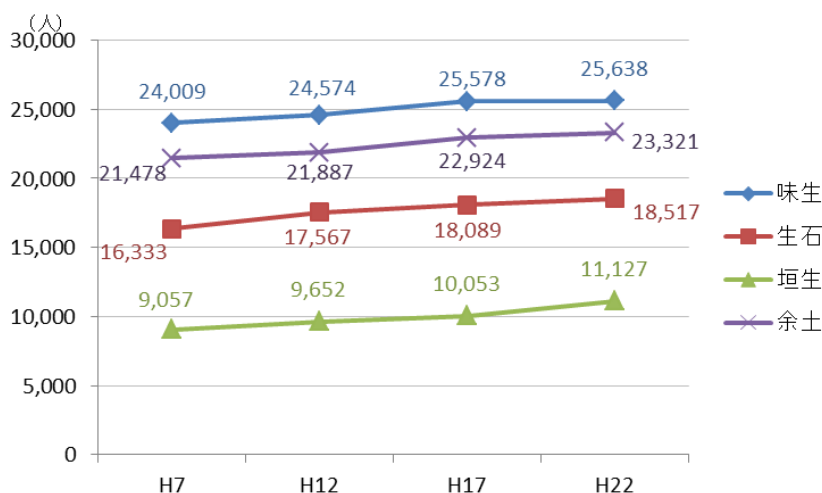
記号	面積
	~ 100㎡
	101㎡~
	301㎡~
	501㎡~
	1,001㎡~
	3,000㎡~
	6,001㎡~
	10,000㎡~

*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

3. 南西部地域（構成地区：味生、生石、垣生、余土）

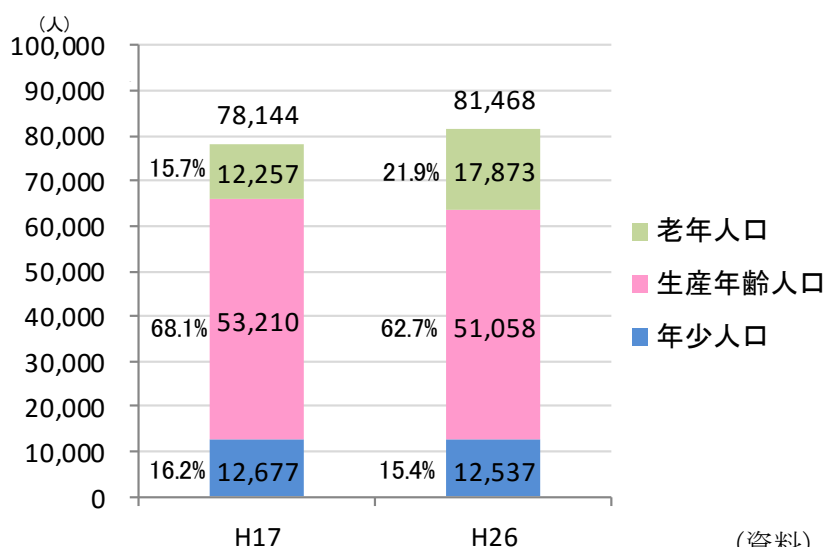
- ・臨海部に松山空港を抱え、空港周辺に工業系の立地が集積し、松山空港線沿道でサービス施設等が集積する一方、余戸駅周辺には住宅街が形成されています。
- ・地域全体で人口が平成7年度から平成22年度にかけて7,000人以上増加しており、地域内の各地区で大きな偏りなく人口の増加が見られます。
- ・地域の将来像として「空港や臨海部工業地のある、活力あるまち」を掲げています。
- ・臨海部工業地帯には、工場と住宅が混在する箇所があり、住環境の改善と工場の操業環境の保全等が求められます。また余戸駅周辺等の住宅街を形成するエリアにおいては、人口の増加に伴い、将来の高齢者増加が見込まれることから、交通利便性の向上などを通じて高齢者等が住みやすいまちなか居住の促進が求められます。

【地区別人口推移】



(資料) 国勢調査

【年齢別人口】



(資料) 住民基本台帳登録人口

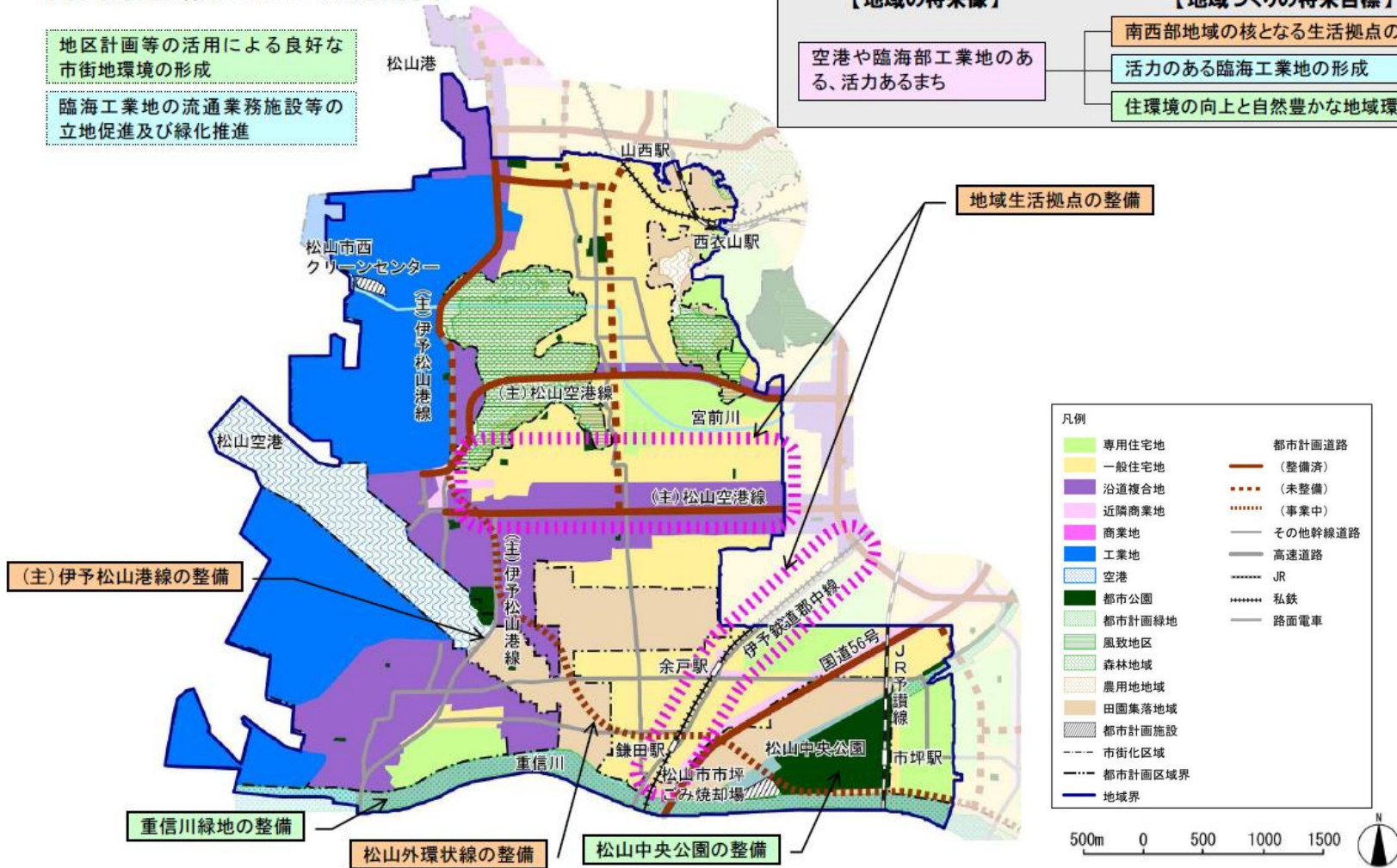
南西部地域のまちづくり方針図

地区計画等の活用による良好な市街地環境の形成
 臨海工業地の流通業務施設等の立地促進及び緑化推進

【地域の将来像】
 空港や臨海部工業地のある、活力あるまち

【地域づくりの将来目標】

- 南西部地域の核となる生活拠点の形成
- 活力のある臨海工業地の形成
- 住環境の向上と自然豊かな地域環境の形成



(資料) 松山都市計画マスタープラン

【松山市】		周辺部			
総面積: 429.00km ² 総人口: 614,769人 人口密度: 1,200人/km ²		南西部 (面積: 24.1km ² / 人口: 79,534人 / 人口密度: 3,300人/km ²)			
		味生 面積: 7.29km ² / 人口: 28,113人 人口密度: 3,863人/km ²	生石 面積: 7.49km ² / 人口: 18,809人 人口密度: 2,513人/km ²	垣生 面積: 4.24km ² / 人口: 11,573人 人口密度: 2,731人/km ²	余土 面積: 5.10km ² / 人口: 23,042人 人口密度: 4,500人/km ²
広域対応施設 庁舎等 消防施設 環境関連施設 文化施設 観光施設 スポーツ・レクリエーション施設 公園施設 図書館 福祉関係施設 幼稚園 小学校 中学校 教員住宅 寮 保育園 子育て施設 集客施設 住宅 駐輪場・駐車場 市場 その他	【味生支所】 S50年/347m ²	【生石支所】 S49年/215m ²	【垣生支所】 S48年/199m ²	【余土支所】 S47年/199m ²	
	【西側支署】 H17年/857.12m ²				
	【南クリーンセンター】 H25年/18888.94m ²	【西部浄化センター】 H28年/68.00m ²	【南クリーンセンター】 H6年/17736.96m ²		
	【埋蔵文化財センター(考古館) 文化財情報館】 ・埋蔵文化センター ・H元年/2,998m ² ・文化財情報館 ・H6年/751m ²				
	【別府市民運動広場】 S58年/68.68m ² トイレ: H23年				
	【地域包括支援センター西】 H8年/137.72m ²	【衛生検査センター】 S57年/1402.08m ²			
	【味生】 S44年/9831m ²	【生石】 S42年/8115m ²	【垣生】 S43年/7176m ²	【余土】 S36年/8061m ²	
	【味生第二】 S58年/7486m ²	【津田中学校】 S42年/8402m ²	【西】 S55年/8710m ²	【南】 S61年/10283m ² 【余土】 H28年/11080m ²	
	【味生】 S61年/880m ²	【味生】 S51年/753m ²	【生石】 S63年/590m ²	【余土】 S44年/513m ²	
	【味生】 H9年/1064.63m ²	【生石公民館】 H7年/998m ²	【垣生センター】 S53年/312.4m ²	【余土】 S48年/390.65m ² 【余土南センター】 S59年/343.1m ² 【余土西センター】 S61年/161.9m ²	
【山西】 S51年/24691m ²	【高岡】 H6年/6495m ²	【東垣生センター】 H16年/129.6m ² 【垣生児童クラブ第2】 H22年/136.36m ²	【余土南】 H4年/3573m ² 【市坪】 H3年/6904m ²		
	【富久】 S49年/18478m ²	【垣生児童クラブ第1】 H16年/129.6m ² 【垣生児童クラブ第2】 H22年/136.36m ²	【市坪西】 H3年/6904m ² 【市坪】 H3年/6904m ²		

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
■	築45年以上(昭和46年以前)
■	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
■	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
■	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
■	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
■	築5年未満(平成24年以降)
☒	避難所指定
☐	複合化施設

【規模別凡例】

記号	面積
■	~ 100m ²
■	101m ² ~
■	301m ² ~
■	501m ² ~
■	1,001m ² ~
■	3,000m ² ~
■	6,001m ² ~
■	10,000m ² ~

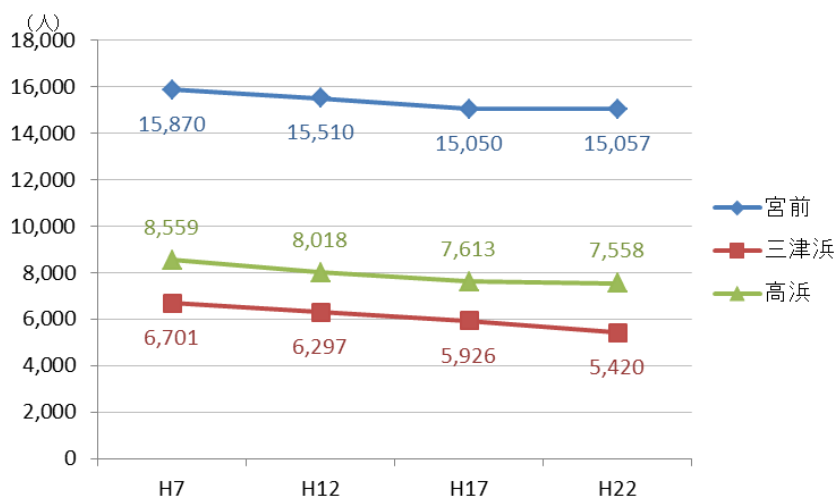
*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

大分類	中分類	小分類
庁舎等	支所	生石支所
		余土支所
消防施設	消防庁舎(消防局・各消防署・支署・出張所)	西部支署
環境関連施設	ごみ処理施設	南クリーンセンター
		西クリーンセンター
学校	小学校	味生小学校
		生石小学校
		垣生小学校
	中学校	余土小学校
		味生第二小学校
		さくら小学校
中学校	津田中学校	
	垣生中学校	
共同調理場	余土中学校	
	西中学校	
住宅	市営住宅	檀中学校
		垣生学校給食共同調理場
福祉関係施設	保健所	衛生検査センター
		福祉施設
子育て施設	児童クラブ	地域包括支援センター西
		余土児童クラブ
集客施設	児童クラブ	味生児童クラブ
		生石児童クラブ
住宅	市営住宅	おひさま子どもクラブ第1
		おひさま子どもクラブ第2
スポーツ・レクリエーション施設	各児童館・児童センター	垣生児童クラブ第1
		垣生児童クラブ第2
公民館等	公民館	味生第二児童クラブ第1
		味生第二児童クラブ第2
その他	市民利用施設	さくら児童クラブ第1
		さくら児童クラブ第2
観光・文化施設	史跡・文化財等	味生児童館
		埋蔵文化財センター(考古館)
市場	市場	文化財情報館
		別府市民運動広場
駐輪場・駐車場	駐輪場・駐車場	野球場(坊ちゃんスタジアム)
		サブ野球場(マドンナスタジアム)
その他	その他	運動広場
		テニスコート
公民館等	公民館	アクアパレット(アクアパレットまつやま)
		屋内運動場
公民館等	公民館	多目的競技場
		松山中央公園多目的競技場
公民館等	公民館	生石公民館
		余土公民館
公民館等	公民館	垣生公民館
		味生公民館
公民館等	公民館	南吉田センター
		東垣生センター
公民館等	公民館	余土南センター
		余土西センター

4. 北西部地域（構成地区：宮前、三津浜、高浜）

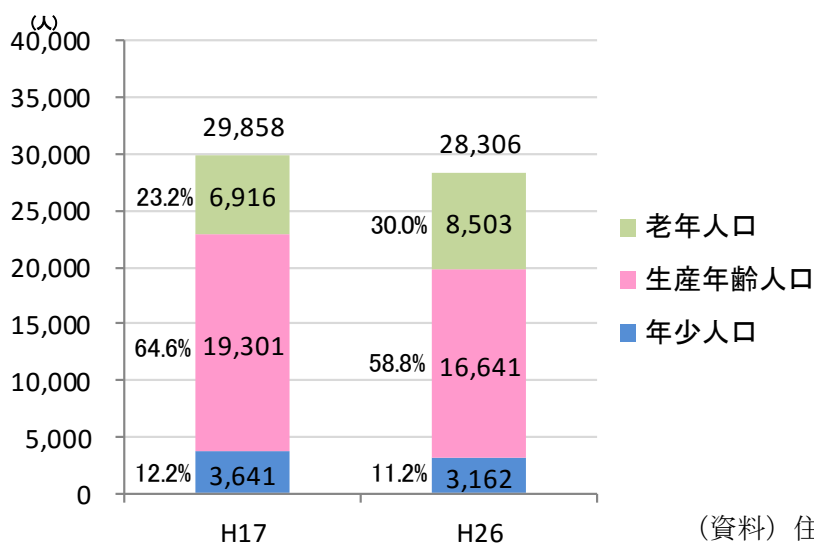
- ・臨海部には松山観光港等の旅客ターミナルが立地しています。伊予鉄三津駅周辺には小規模な生活サービス施設が集積する商店街が形成されています。
- ・地域全体で人口が平成7年度から平成22年度にかけて3,000人以上減少しており、地域内の全ての地区で人口の減少が見られます。
- ・地域の将来像として「海に開かれた歴史と自然が身近に広がるまち」を掲げています。
- ・松山観光港の旅客ターミナル機能の充実・強化を図るため、松山観光港と高浜駅との連携強化の検討を行います。また、伊予鉄三津駅周辺の商店街はシャッター通り化しており、地区内の歩行空間の確保など、回遊性の向上と合わせたサービス施設の導入が求められています。

【地区別人口推移】



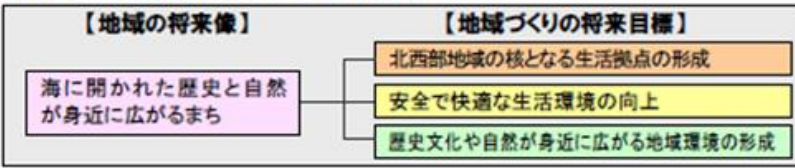
(資料) 国勢調査

【年齢別人口】

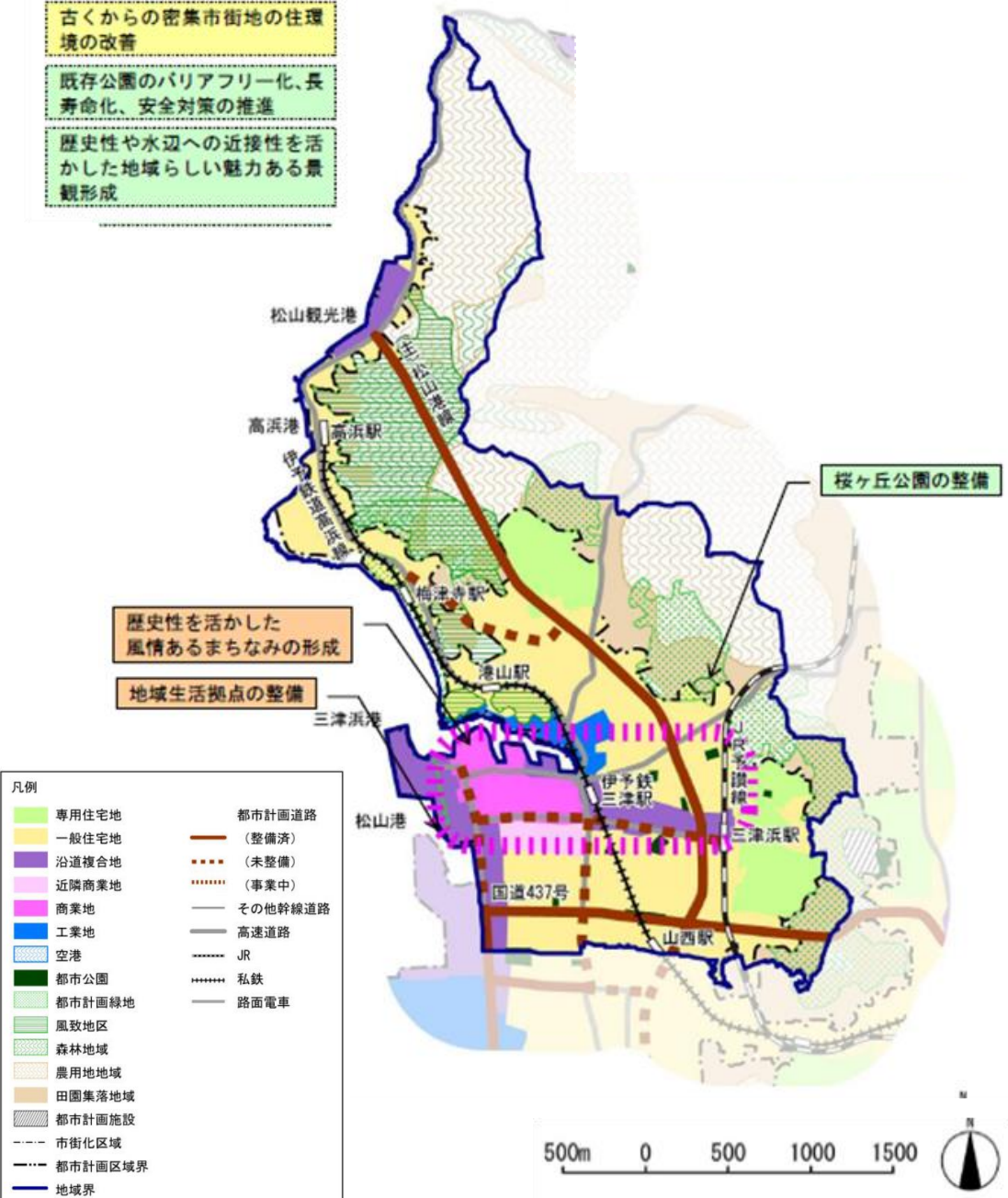


(資料) 住民基本台帳登録人口

北西部地域のまちづくり方針図



- 地区計画等の活用による市街地環境の確保
- 古くからの密集市街地の住環境の改善
- 既存公園のバリアフリー化、長寿命化、安全対策の推進
- 歴史性や水辺への近接性を活かした地域らしい魅力ある景観形成



凡例

専用住宅地	都市計画道路 (整備済)
一般住宅地	都市計画道路 (未整備)
沿道複合地	都市計画道路 (事業中)
近隣商業地	その他幹線道路
商業地	高速道路
工業地	JR
空港	私鉄
都市公園	路面電車
都市計画緑地	
風致地区	
森林地域	
農用地地域	
田園集落地域	
都市計画施設	
市街化区域	
都市計画区域界	
地域界	

(資料) 松山都市計画マスタープラン

【当地域に配置されている施設の中で用途別に今後10年間の行動計画の対象となっている主な施設一覧及び配置状況】

施設名	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
松山港務所	方向性の検討	→	→	建替もしくは移転						
吉藤資源選別保管施設	老朽化した建物の解体撤去、解体予定（時期未定）	→	→	→	→	→	→	→	→	→
松ノ木住宅										
港山保育園	方向性の検討	→	更新予定							
久枝児童館									設備更新予定	
権現温泉第一源泉	方向性の検討	→	→	→	方向性の決定					
水産地方卸売市場			場外荷揚場改修工事	冷蔵庫棟改修工事	→				卸売棟改修工事	H38完了予定

【松山市】		周辺部			
総面積: 429.06km ² 総人口: 514,769人 人口密度: 1,200人/km ²		北西部 (面積: 8.48km ² / 人口: 27,139人 / 人口密度: 3,200人/km ²)			
		宮前 <small>面積: 2.95km² / 人口: 14,951人 人口密度: 4,981人/km²</small>	三津浜 <small>面積: 0.96km² / 人口: 5,130人 人口密度: 5,399人/km²</small>	高浜 <small>面積: 4.57km² / 人口: 7,058人 人口密度: 1,609人/km²</small>	
広域対応施設	庁舎等		【松山市地域交流センター】 H23年/1037m ²		
	消防施設		【西消防署】 H6年/3709.92m ²		
	環境関連施設				
	文化施設				
	観光施設				
	スポーツ・レクリエーション施設				
	公園施設				
	図書館		【三津浜】 H6年/7.6m ²		
	福祉関係施設		【三津浜】 S56年/1162m ²		
	学校	幼稚園		【宮前】 S42年/7659m ²	【三津浜】 S57年/5377m ²
		小学校		【高浜】 S33年/5669m ²	【高浜】 S38年/5979m ²
		中学校		【三津浜】 S37年/9317m ²	
		教員住宅			
	子育て施設	保育園	【中須賀】 S53年/698m ²	【三津浜】 S57年/857m ²	【港山】 S42年/393m ² 【高浜】 S58年/300m ²
		児童クラブ	【宮前】 H14年/99.37m ²	【三津浜】 H23年/130.06m ²	【しおかぜクラブ】 H17年/62.25m ² <small>(高浜小学校内各級教室)</small>
	集会所	【宮前】 S51年/495.18m ²	【三津浜】 H10年/699.63m ²	【高浜】 S56年/601.65m ²	
住宅	【古三津】 S53年/6881m ²		【松ノ木】(除去予定) S28年/35m ² 【松ノ木】 H8年/3755m ²		
駐輪場・駐車場					
市場		【水産市場】 S55年/19825m ²			
その他	市民利用施設				

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
	築45年以上(昭和46年以前)
	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
	築5年未満(平成24年以降)
	避難所指定
	複合化施設

【規模別凡例】

記号	面積
	~ 100m ²
	101m ² ~
	301m ² ~
	501m ² ~
	1,001m ² ~
	3,000m ² ~
	6,001m ² ~
	10,000m ² ~

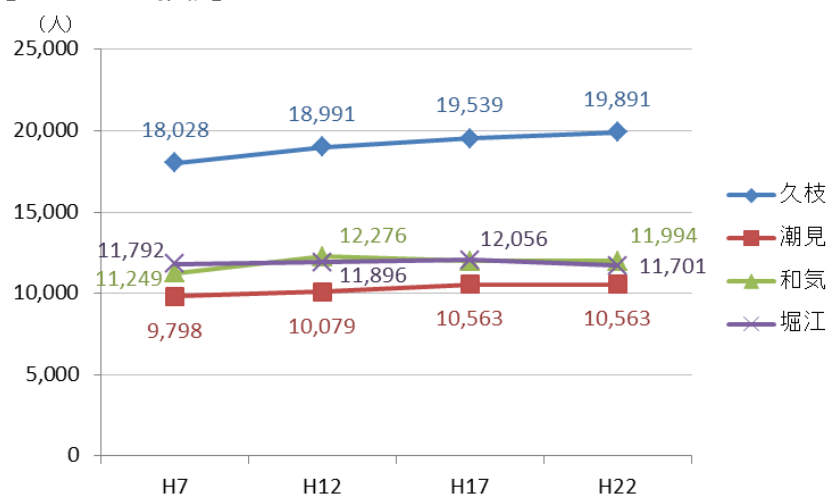
*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

大分類	中分類	小分類
庁舎等	支所	松山市地域交流センター
消防施設	消防庁舎 (消防局・各消防署・支署・出張所)	西消防署
学校	幼稚園	三津浜幼稚園
	小学校	三津浜小学校 宮前小学校 高浜小学校
	中学校	三津浜中学校 高浜中学校
	共同調理場	三津浜学校給食共同調理場
住宅	市営住宅	古三津 松ノ木 松ノ木(除却予定)
子育て施設	保育園	高浜保育園 港山保育園 中須賀保育園
	児童クラブ	宮前児童クラブ しおかぜクラブ 三津浜児童クラブ
観光・文化施設	図書館	三津浜図書館
市場	市場	水産市場
公民館等	公民館	台津浜公民館 宮前公民館 高浜公民館

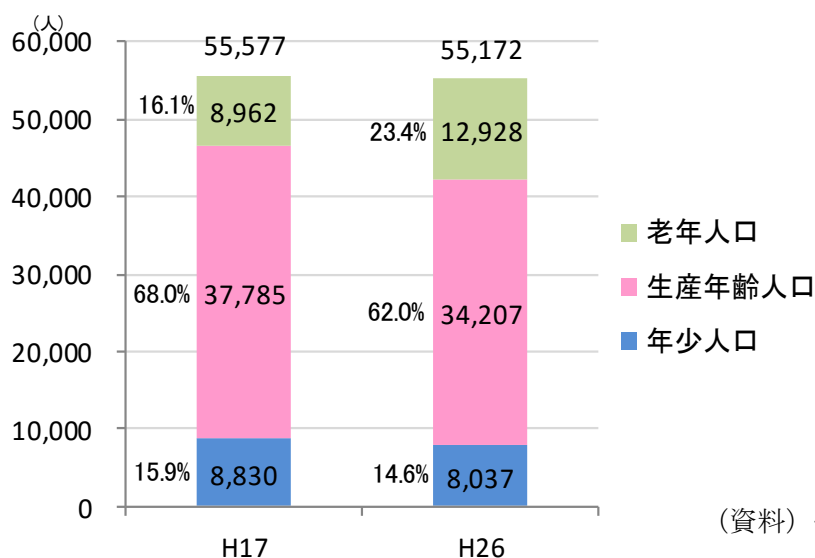
5. 北部地域（構成地区：久枝、潮見、和気、堀江）

- ・都心地域の北側に隣接し、最も都心部に隣接するエリアに中央卸売市場を抱える地域です。地域内の東部には農地が広がり、堀江駅及び国道196号線周辺に住宅地やサービス施設が集まるほか、伊予和気駅北側には工場の集積も見られます。
- ・地区全体で人口が平成7年度から平成22年度にかけて3,000人以上増加していますが、平成17年度から平成22年度に限定すると、ほぼ横ばいの状況にあります。
- ・地域の将来像として「豊かな自然に囲まれた住まいと産業が調和したまち」を掲げています。
- ・工場の集積地区において操業環境の増進を図るほか、中央卸売市場や事業所等が立地する問屋町周辺においては、流通業務地として更なる物流機能の充実が求められます。一方、人口の増加に伴い、将来の高齢者増加が見込まれることから、交通利便性の向上などを通じて高齢者等が住みやすいまちなか居住の促進が求められます。

【地区別人口推移】



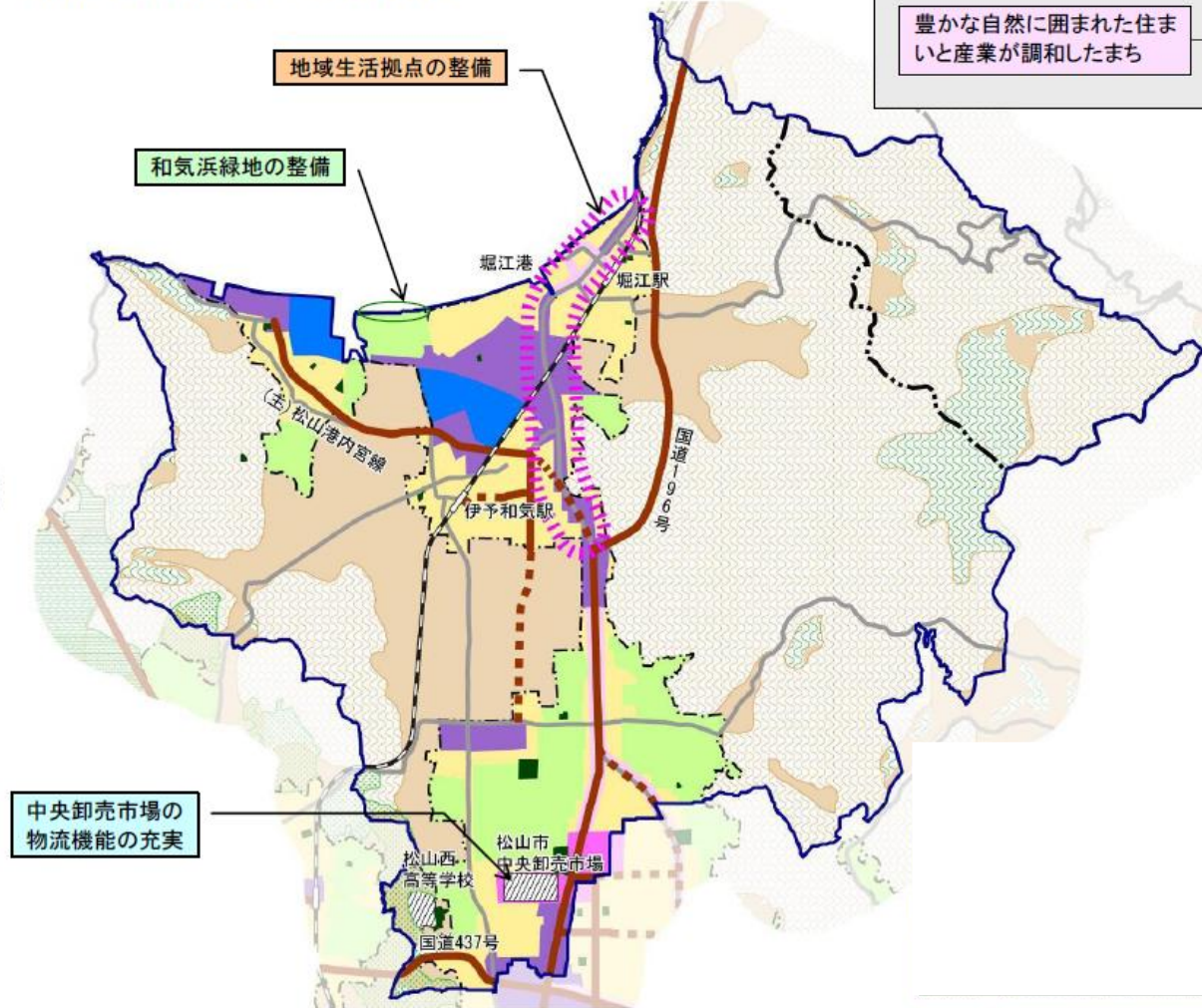
【年齢別人口】



(資料) 国勢調査

(資料) 住民基本台帳登録人口

北部地域のまちづくり方針図



【地域の将来像】

豊かな自然に囲まれた住まいと産業が調和したまち

【地域づくりの将来目標】

- 北部地域の核となる生活拠点の形成
- 活力のある産業・流通業務地の振興
- 豊かな自然環境と調和した良好な住環境の形成

地区計画等の活用による市街地環境の確保

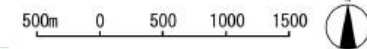
北部産業集積地区の維持・増進及び緩衝的な緑地の整備促進

既存公園のバリアフリー化、長寿命化、安全対策の推進

水辺への近接性を活かした地域らしい魅力ある景観形成

凡例

専用住宅地	都市計画道路 (整備済)
一般住宅地	都市計画道路 (未整備)
沿道複合地	都市計画道路 (事業中)
近隣商業地	その他幹線道路
商業地	高速道路
工業地	JR
空港	私鉄
都市公園	路面電車
都市計画緑地	
風致地区	
森林地域	
農用地地域	
田園集落地域	
都市計画施設	
市街化区域	
都市計画区域界	
地域界	



【当地域に配置されている施設の中で用途別に今後10年間の行動計画の対象となっている主な施設一覧及び配置状況】

施設名	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
志津川住宅	解体予定 (時期未定)									
中央卸売市場青果部	冷蔵庫棟 改修工事	→	仲卸荷捌場建設工 事	→		卸売場 改修工事	→	→	管理棟 改修工事	
				バナナ加工所 改修工事	関連商品売場他 改修工事	→				
花き地方卸売市場									卸売場 改修工事	

【松山市】		周辺部			
総面積: 429.06km ² 総人口: 514,783人 人口密度: 1,200人/km ²		北部 (面積: 31.62km ² / 人口: 54,261人 / 人口密度: 1716人/km ²)			
		久枝	潮見	和氣	堀江
		面積: 4.89km ² / 人口: 19,698人 人口密度: 4,042人/km ²	面積: 6.73km ² / 人口: 10,630人 人口密度: 1,581人/km ²	面積: 7.69km ² / 人口: 12,033人 人口密度: 1,564人/km ²	面積: 12.91km ² / 人口: 11,900人 人口密度: 921人/km ²
広域対応施設	庁舎等	【久枝支所】 S61年/151m ²	【潮見支所】 S53年/200m ²	【和氣支所】 H5年/304m ²	【堀江支所】 S49年/199m ²
	消防施設			【城北支署】 S53年/587.89m ²	
	環境関連施設		【吉藤資源選別保管施設】 S38年/252.17m ²		
	文化施設				
	観光施設				
	スポーツ・レクリエーション施設				
	公園施設				
	図書館				
	福祉関係施設	【久枝身体障害者福祉センター】 H14年/938.3m ²			
	地域対応施設	幼稚園			
小学校		【久枝】 S44年/8732m ²	【みどり】 H2年/11294m ²	【潮見】 S47年/7049m ²	【和氣】 S51年/8069m ²
中学校				【鴨川】 S44年/8020m ²	【北中学校】 H元年/12872m ²
職員住宅					【内宮】 H元年/9944m ²
寮		【城北】 H11年/1303m ²	【久枝】 H11年/1303m ²		【和氣】 S54年/744m ²
保育園					【堀江】 H14年/533m ²
子育て施設		【久枝3】 H5年/81m ²	【みどり2】 H27年/118.84m ²	【潮見第1】 H11年/64.5m ²	【和氣】 H10年/145.6m ²
集会所		【久枝1】 H27年/168.48m ²	【久枝児童館】 H14年/520.62m ²	【潮見第2】 H22年/115.03m ²	【和氣】 H26年/171.76m ²
住宅		【久枝公民館】 S61年/371.16m ²	【潮見】 H6年/904.02m ²	【和氣】 H8年/959.02m ²	【堀江】 H6年/999.66m ²
駐輪場・駐車場		【志津川(除却予定)】 S23年/61m ²	【潮見】 S59年/3814m ²	【馬木】 H7年/6255m ²	【内宮】 H元年/9944m ²
市場	【中央市場】 S49年/36982m ²	【吉藤】 S59年/4276m ²	【三光】 S48年/32249m ²		
その他				【堀江港休憩所】 H25年/117.9m ²	

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
■	築45年以上(昭和46年以前)
■	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
■	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
■	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
■	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
■	築5年未満(平成24年以降)
☒	避難所指定
□	複合化施設

【規模別凡例】

記号	面積
■	~100m ²
■	101m ² ~
■	301m ² ~
■	501m ² ~
■	1,001m ² ~
■	3,000m ² ~
■	6,001m ² ~
■	10,000m ² ~

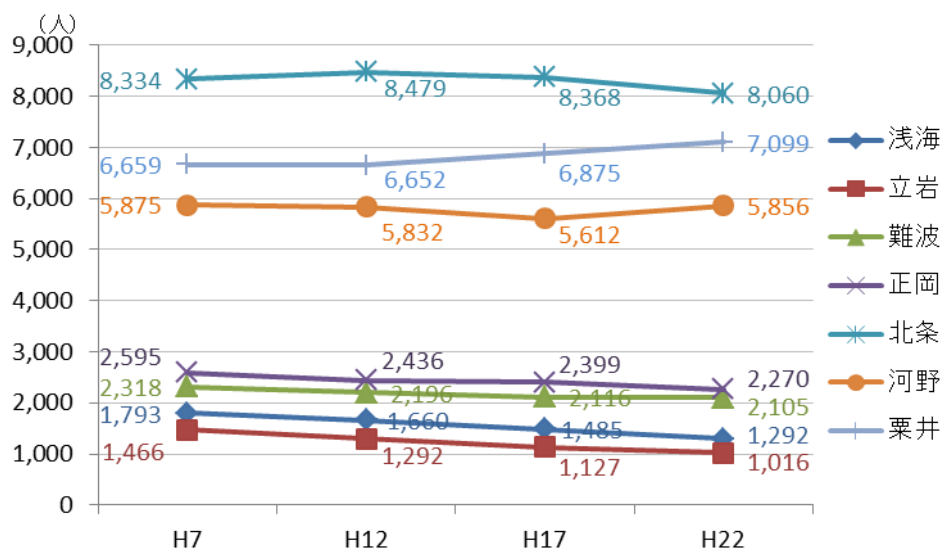
*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

大分類	中分類	小分類
庁舎等	支所	潮見支所
		久枝支所
		堀江支所
		和氣支所
消防施設	消防庁舎(消防局・各消防署・支署・出張所)	城北支署
環境関連施設	吉藤資源選別保管施設	吉藤資源選別保管施設
学校	小学校	堀江小学校
		潮見小学校
	中学校	久枝小学校
		和氣小学校
共同調理場	みどり小学校	
	鴨川中学校	
住宅	市営住宅	内宮中学校
		城北中学校
		城北中学校給食共同調理場
		久枝学校給食共同調理場
		和氣学校給食共同調理場
		志津川(除却予定)
		潮見
		吉藤
		馬木
		太山寺
三光		
内宮		
福祉関係施設	福祉施設	久枝身体障害者福祉センター
	保育園	堀江保育園
子育て施設	児童クラブ	みどり児童クラブ第2
		久枝児童クラブ第1
		久枝児童クラブ第3
		堀江児童クラブ
		堀江児童クラブ第2
		潮見児童クラブ第1
		潮見児童クラブ第2
		和氣児童クラブ第1
市場	市場	久枝児童クラブ第2
		中央市場
公民館等	公民館	和氣公民館
		潮見公民館
		堀江公民館
		久枝公民館(久枝支所併設)
その他	市民利用施設	内宮ふれあいセンター
		内宮ふれあいセンター
その他	市民利用施設	港湾関係
		堀江港休憩所

6. 北条地域（構成地区：浅海、立岩、難波、正岡、北条、河野、粟井）

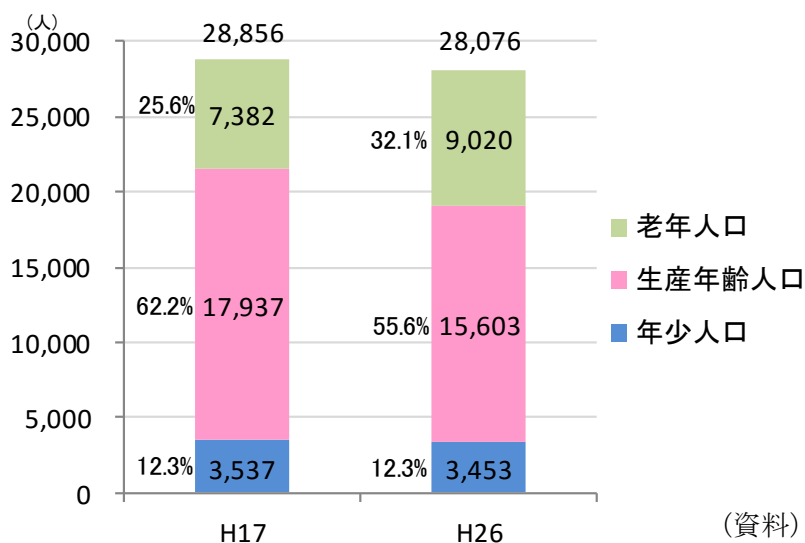
- ・松山市内北部に位置し、平成17年の合併以前の旧北条市に該当する地域です。地域の大部分を農地や森林が占め、伊予北条駅を初めとする鉄道駅周辺に住宅地や産業地が集積しています。
- ・地域全体で人口が平成7年度から平成22年度にかけて1,000人以上減少しています。また老年人口が約3割に達しており、市平均と比べて高い状況にあります。
- ・地域の将来像として「豊かな自然と調和した、良好な住環境が広がるまち」を掲げています。
- ・老年人口割合が高いことから、高齢化に対応したサービス施設の充実が求められています。また、伊予北条駅周辺では人口の減少等に伴い活力が失われつつあることから、市では「風早レトロタウン構想」により地域の活性化を図っているところです。

【地区別人口推移】



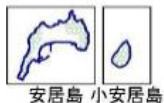
(資料) 国勢調査

【年齢別人口】



(資料) 住民基本台帳登録人口

北条地域のまちづくり方針図

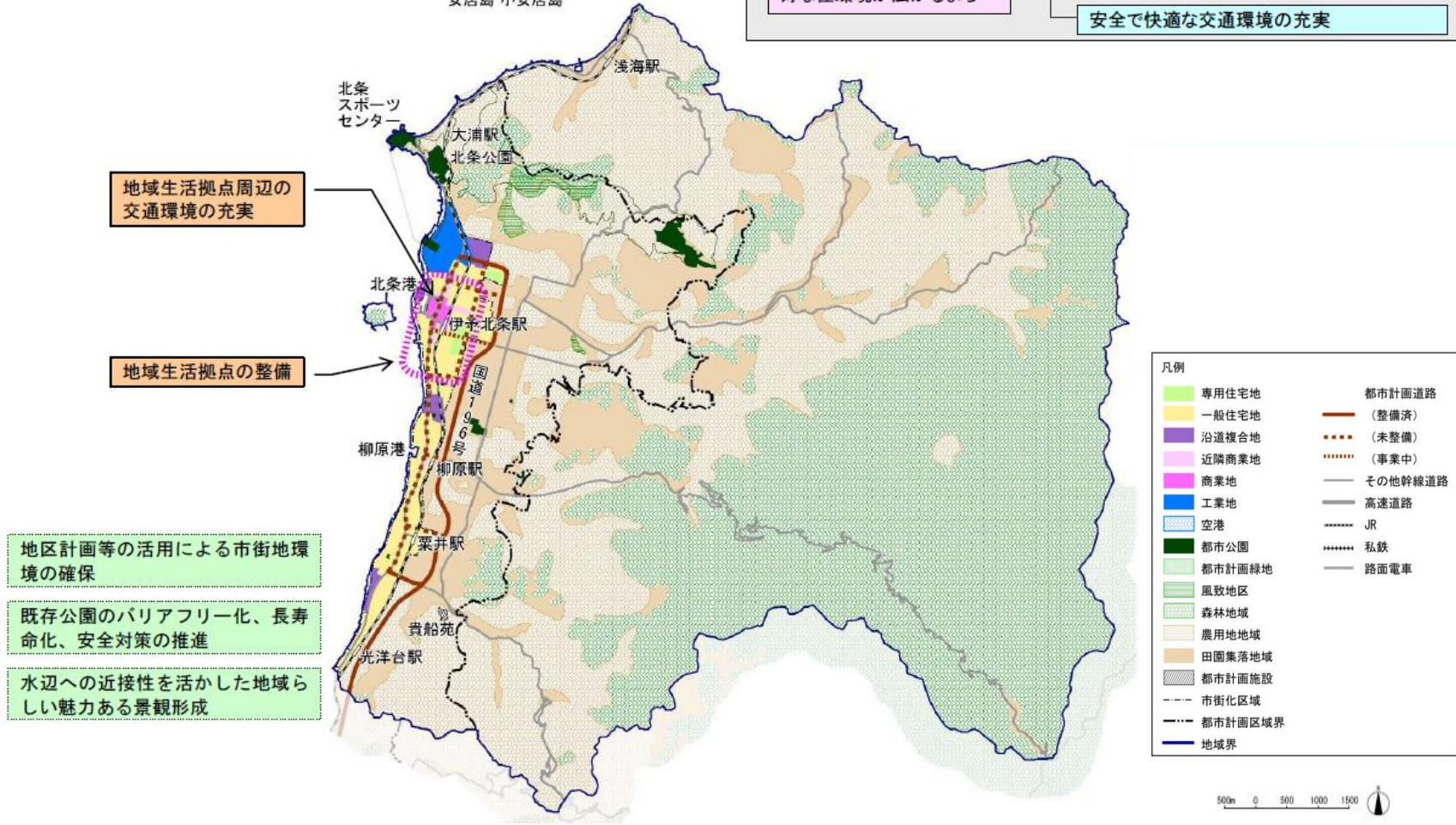


【地域の将来像】

豊かな自然と調和した、良好な住環境が広がるまち

【地域づくりの将来目標】

- 北条地域の核となる生活拠点の形成
- 豊かな自然環境と調和した良好な住環境の形成
- 安全で快適な交通環境の充実



地域生活拠点周辺の交通環境の充実

地域生活拠点の整備

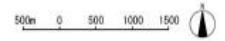
地区計画等の活用による市街地環境の確保

既存公園のバリアフリー化、長寿命化、安全対策の推進

水辺への近接性を活かした地域らしい魅力ある景観形成

凡例

<ul style="list-style-type: none"> 専用住宅地 一般住宅地 沿道複合地 近隣商業地 商業地 工業地 空港 都市公園 都市計画緑地 風致地区 森林地域 農用地地域 田園集落地域 都市計画施設 市街化区域 都市計画区域界 地域界 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路 (整備済) (未整備) (事業中) その他幹線道路 高速道路 JR 私鉄 路面電車
--	---



大分類	中分類	小分類
庁舎等	支所	北条支所
消防施設	消防庁舎 (消防局・各消防署・支署・出張所)	北条支署
環境関連施設	ごみ処理施設	北条クリーンセンター
	し尿処理施設	北条衛生浄化センター
学校	小学校	浅海小学校
		難波小学校
		立岩小学校
		正岡小学校
		北条小学校
		河野小学校
		粟井小学校
	中学校	北条北中学校
		北条南中学校
住宅	市営住宅	八反地(除却予定)
		児玉(除却予定)
		住吉(除却予定)
		美住(除却予定)
		新開(除却予定)
		鹿峰
		恵良
		第2新開
公園施設	北条鹿島公園渡船待合所・博物館・展示館・レストハウス	渡船待合所
		レストハウス
	河野別府公園	博物館展示館
		河野別府公園
福祉関係施設	保健センター	保健センター北条分室
	斎場	北条斎場
子育て施設	保育園	浅海保育園
		国津保育園
		粟井保育園
	児童クラブ	じどう児童クラブ
		北条児童クラブ第2
		河野児童クラブ第1
		河野児童クラブ第2
観光・文化施設	図書館	北条図書館
	文化施設	北条ふるさと館
		北条市民会館
観光施設等	道の駅(風早の郷 風和里)	
スポーツ・レクリエーション施設	体育施設	北条スポーツセンター
		北条体育館
		河野別府公園体育施設
		北条公園(法橋運動広場)
		安岡避難地
公民館等	公民館	浅海公民館(浅海出張所・浅海老人サービスセンター併設)
		立岩公民館(立岩出張所併設)
		難波公民館(難波地域活性化センター併設)
		正岡公民館
		北条公民館(北条コミュニティセンター含む)
		河野公民館(河野出張所併設)
		粟井公民館(粟井出張所、粟井農村環境改善センター併設)
	ふれあいセンター	北条ふれあいセンター
		浅海ふれあいセンター

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
	築45年以上(昭和46年以前)
	築35年以上45年未満(昭和47年～56年)
	築25年以上35年未満(昭和57年～平成3年)
	築15年以上25年未満(平成4年～13年)
	築5年以上15年未満(平成14年～23年)
	築5年未満(平成24年以降)
	避難所指定
	複合化施設

【規模別凡例】

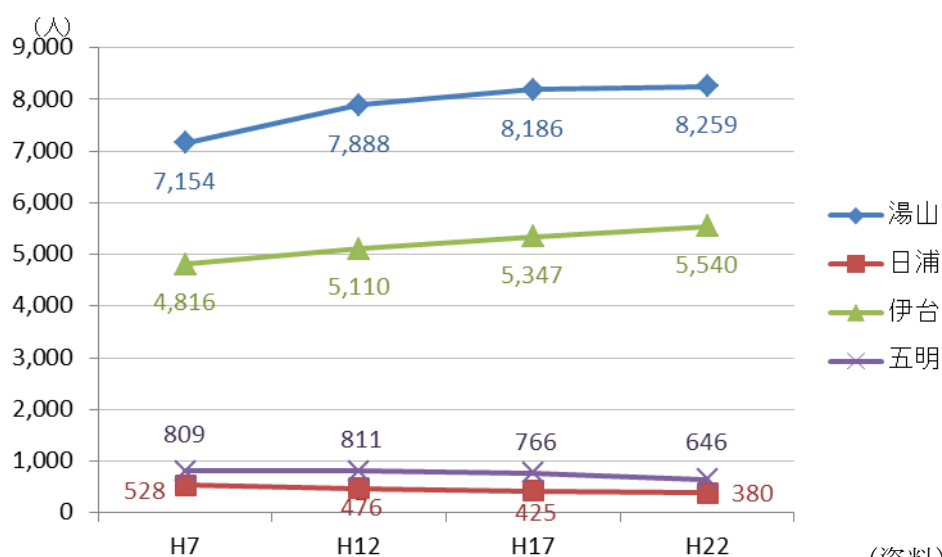
記号	面積
■	～100㎡
■	101㎡～
■	301㎡～
■	501㎡～
■	1,001㎡～
■	3,000㎡～
■	6,001㎡～
■	10,000㎡～

*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

7. 湯山地域（構成地区：湯山、日浦、伊台、五明）

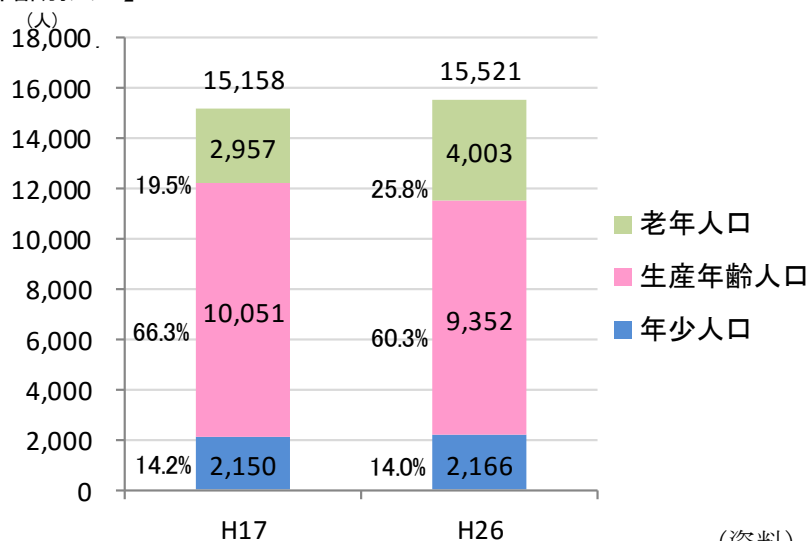
- ・地域の大部分を森林が占め、奥道後玉川県立自然公園が位置するなど、良好な自然環境に恵まれた地域です。
- ・地域全体で人口が平成7年度から平成22年度にかけて1,000人以上増加しています。都心地域に隣接し幹線道路が通っている湯山地区や伊台地区で人口の増加が見られ、それ以外の地区では減少傾向にあります。
- ・地域の将来像として「豊かな自然に囲まれた田園居住のまち」を掲げています。
- ・奥道後玉川県立自然公園が位置する森林地帯は、水源涵養や砂防に寄与する地域であることから、今後も優れた自然の維持が求められます。また、山間部に開発住宅地が点在していることから、バス等の公共交通等による移動手段の確保が課題となっています。

【地区別人口推移】



(資料) 国勢調査

【年齢別人口】



(資料) 住民基本台帳登録人口

湯山地域のまちづくり方針図



(資料) 松山都市計画マスタープラン

【当地域に配置されている施設の中で用途別に今後10年間の行動計画の対象となっている主な施設一覧及び配置状況】

施設名	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
日浦住宅	解体予定 (時期未定)									
湯山福祉センター	解体予定 (時期未定)									
松山市斎場	方向性 の検討	→	→	→	更新予定					
伊台保育園	方向性の検討		→	更新予定						

【松山市】		周辺部				
総面積: 429.09km ² 総人口: 514,763人 人口密度: 1,200人/km ²		湯山 (面積: 90.65km ² / 人口: 14,906人 / 人口密度: 164人/km ²)				
		湯山	日浦	伊台	五明	
		面積: 20.51km ² / 人口: 8,181人 人口密度: 398人/km ²	面積: 40.69km ² / 人口: 3,171人 人口密度: 8人/km ²	面積: 12.49km ² / 人口: 5,817人 人口密度: 467人/km ²	面積: 17.04km ² / 人口: 6,111人 人口密度: 36人/km ²	
広域対応施設	庁舎等	【湯山支所】 S48年/199m ²		【伊台支所】 H13年/237m ²	【五明支所】 H3年/264m ²	
	消防施設	【湯山救急出張所】 H18年/384.3m ²				
	環境関連施設					
	文化施設					
	観光施設					
	スポーツ・レクリエーション施設				【野外活動センター】 H4年/9560.11m ²	
	公園施設					
	図書館					
	地域対応施設	福祉関係施設	【松山市斎場】 S51年/1850m ² 【湯山福祉センター】 S46年/1300.2m ²			
		学校	【湯山】 S54年/6377m ²	【日浦】 S49年/2103m ²	【伊台】 S57年/4191m ²	【五明】 H8年/241m ²
		住宅	【湯山】 S43年/6477m ²	【日浦】 S38年/2148m ²	【伊台】 H2年/7574m ²	
		子育て施設	【湯山】 S53年/515m ²	【日浦】 S49年/90m ²	【伊台】 S43年/257m ²	【五明】 H27年/162.00m ²
		公民館等	【湯山1】 H16年/82.9m ² 【湯山1・2】 H26年/187.32m ²		【伊台】 H13年/722.64m ²	【五明】 H14年/676.44m ²
		集会施設	【湯山】 S53年/382.19m ² 【湯山ふれあいセンター】 S52年/363m ²	【日浦】 (河中出張所併設) S50年/297m ²	【伊台】 (伊台支所併設) H13年/722.64m ²	【五明】 H14年/676.44m ²
		住宅		【日浦】 (廃学舎) S29年/68m ²		
駐輪場・駐車場						
市場						
その他		市民利用施設				

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
■	築45年以上(昭和46年以前)
■	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
■	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
■	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
■	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
■	築5年未満(平成24年以降)
☒	避難所指定
□	複合化施設

【規模別凡例】

記号	面積
■	~100m ²
■	101m ² ~
■	301m ² ~
■	501m ² ~
■	1,001m ² ~
■	3,000m ² ~
■	6,001m ² ~
■	10,000m ² ~

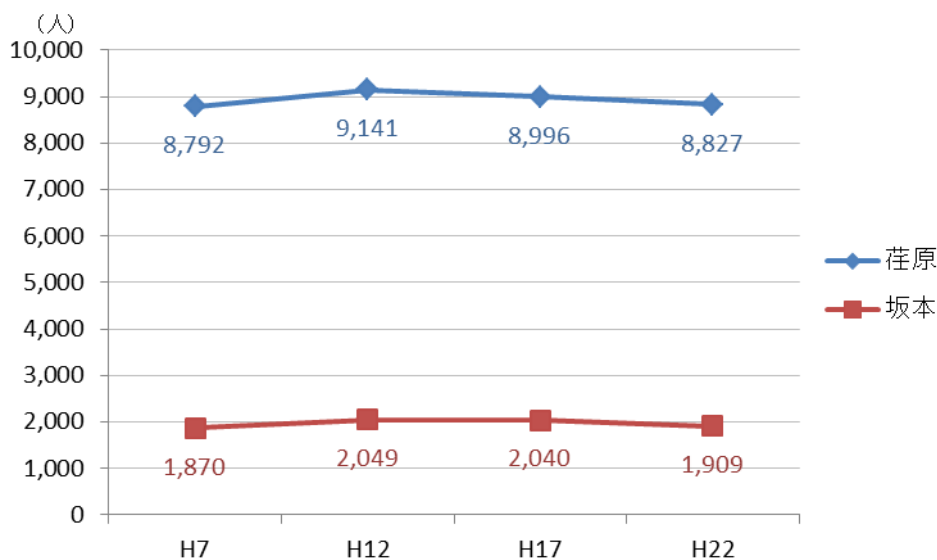
*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

大分類	中分類	小分類
庁舎等	支所	湯山支所
		伊台支所
		五明支所
消防施設	消防庁舎 (消防局・各消防署・支署・出張所)	湯山救急出張所
学校	幼稚園	五明幼稚園
	小学校	湯山小学校
		日浦小学校
		伊台小学校
	中学校	五明小学校
共同調理場	湯山中学校	
	日浦中学校	
住宅	市営住宅	日浦(除却予定)
福祉関係施設	福祉施設	湯山福祉センター
	斎場	松山市斎場
子育て施設	保育園	小百合保育園
		伊台保育園
	児童クラブ	湯山児童クラブ第1,2 湯山児童クラブ第3 伊台児童クラブ
スポーツ・レクリエーション施設	体育施設	野外活動センター
公民館等	公民館	湯山公民館
		日浦公民館(河中出張所併設)
		五明公民館
	伊台公民館(伊台支所併設)	
	ふれあいセンター	溝辺ふれあいセンター

8. 久谷地域（構成地区：荇原、坂本）

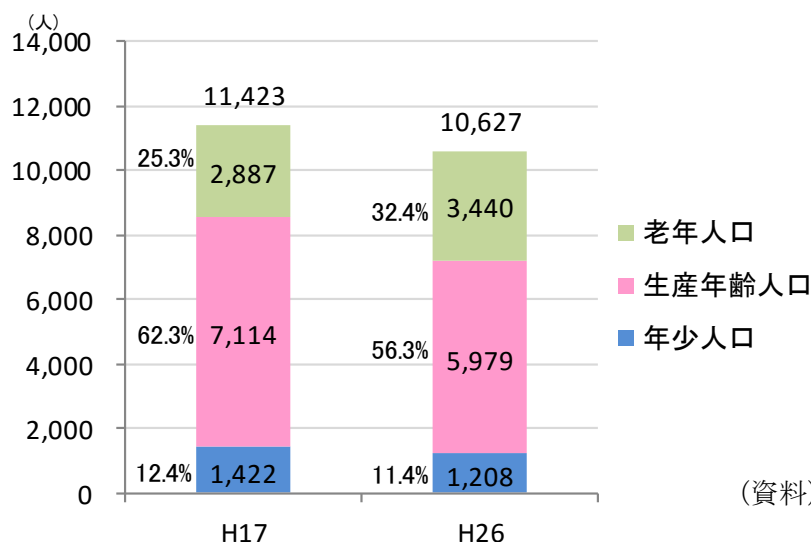
- ・松山市内南部に位置し、地域内北部に田園集落地域が形成されるほかは、森林や農地が大半を占める地域です。
- ・地域全体で人口は平成7年度から平成22年度にかけて大きな変動はありませんが、平成17年度から平成22年度に限定すると減少傾向にあります。また老年人口が約3割に達しており、市平均と比べて高い状況にあります。
- ・地域の将来像として「里山の風景と遍路文化が薫る、安らぎある田園居住のまち」を掲げています。
- ・田園地帯や山村部に形成されている農山村集落においては、その良好な景観や豊かなコミュニティの維持が求められます。また、老年化人口割合が高いことから、高齢化に対応したサービス施設の充実が求められます。

【地区別人口推移】



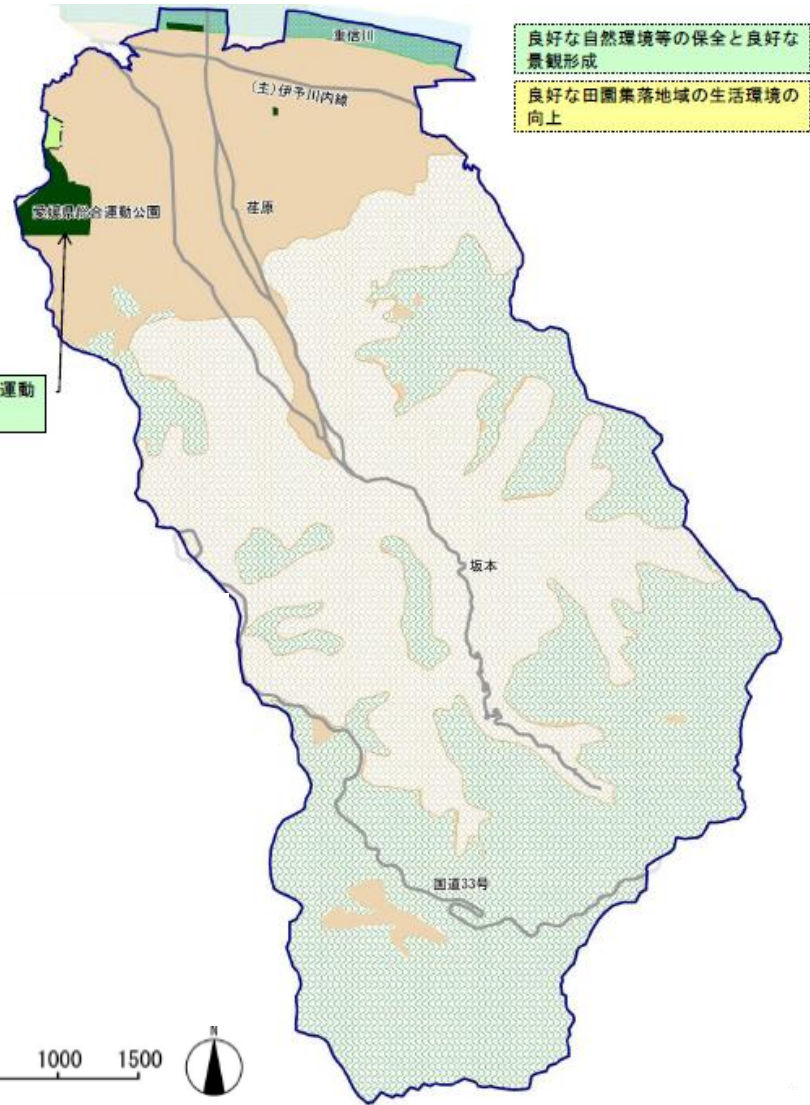
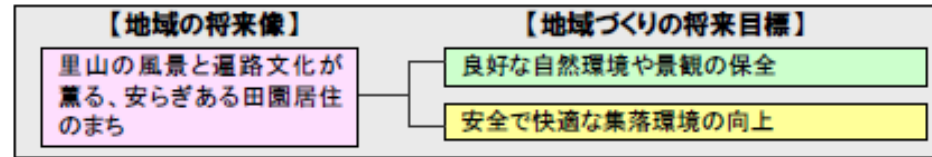
(資料) 国勢調査

【年齢別人口】

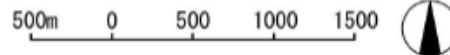


(資料) 住民基本台帳登録人口

久谷地域のまちづくり方針図



凡例	
専用住宅地	都市計画道路 (整備済)
一般住宅地	都市計画道路 (未整備)
沿道複合地	都市計画道路 (事業中)
近隣商業地	その他幹線道路
商業地	高速道路
工業地	JR
空港	私鉄
都市公園	路面電車
都市計画緑地	
風致地区	
森林地域	
農用地地域	
田園集落地域	
都市計画施設	
市街化区域	
都市計画区域界	
地域界	



【当地域に配置されている施設の中で用途別に今後10年間の行動計画の対象となっている主な施設一覧及び配置状況】

施設名	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
荏原幼稚園	改築 設計	改築 (耐震化)								
恵原荘	方向性 の検討	方向性 の決定	方向性に基づき 施策の実施							
北谷地区共同給水施設ポンプ室	地元による 施設整備	地元による 施設整備	地元による 施設整備	廃止						

【松山市】		周辺部	
総面積: 429.06km ² 総人口: 514,783人 人口密度: 1,200人/km ²		久谷 (面積: 44.65km ² / 人口: 10,273人 / 人口密度: 230人/km ²)	
		荏原 面積: 14.95km ² / 人口: 3,504人 人口密度: 869人/km ²	坂本 面積: 30.65km ² / 人口: 1,789人 人口密度: 58人/km ²
広域対応施設	庁舎等	【久谷支所】 S42年/530m ²	
	消防施設	【久谷救急出張所】 H20年/396.1m ²	
	環境関連施設		
	文化施設		
	観光施設		
	スポーツ・レクリエーション施設		
	公園施設		
	図書館		
	福祉関係施設	【軽費老人ホーム恵原荘】 S54年/1717.56m ²	
	地域対応施設	幼稚園	【荏原】 S46年/459m ²
小学校		【荏原】 S50年/6672m ²	【坂本】 S52年/4039m ²
中学校			【久谷】 H4年/7653m ²
教員住宅			
寮			
児童館			
子育て施設		【荏原2】 H27年/168.48m ²	【荏原】 H13年/97.2m ²
集会施設		【荏原】 S42年/828.87m ²	【坂本】 (出口出張所併設) S58年/553.83m ²
住宅		【上川原】 S54年/3543m ²	
駐輪場・駐車場		【上野町駐輪場】 S57年 ※開設年 / 4695m ² (敷地)	
市場			
その他	市民利用施設		

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
■	築45年以上(昭和46年以前)
■	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
■	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
■	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
■	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
■	築5年未満(平成24年以降)
■	避難所指定
□	複合化施設

【規模別凡例】

記号	面積
■	~ 100m ²
■	101m ² ~
■	301m ² ~
■	501m ² ~
■	1,001m ² ~
■	3,000m ² ~
■	6,001m ² ~
■	10,000m ² ~

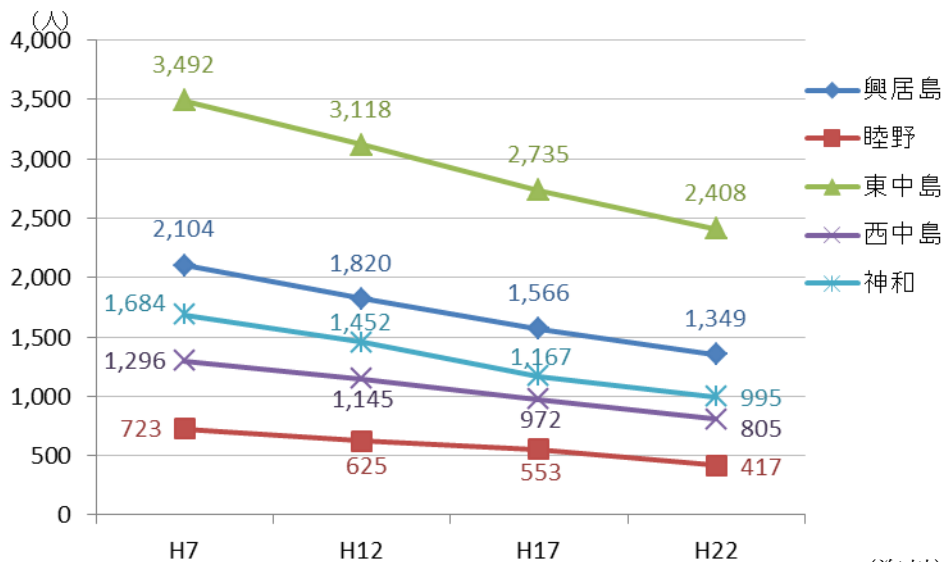
*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

大分類	中分類	小分類
庁舎等	支所	久谷支所
消防施設	消防庁舎 (消防局・各消防署・支署・出張所)	久谷救急出張所
学校	幼稚園	荏原幼稚園 坂本幼稚園
	小学校	荏原小学校 坂本小学校
	中学校	久谷中学校
住宅	市営住宅	上川原
福祉関係 子育て施設	福祉施設	軽費老人ホーム恵原荘
	児童クラブ	荏原児童クラブ 荏原児童クラブ2
駐輪場・	市営駐輪場	上野町駐輪場
公民館等	公民館	荏原公民館(久谷支所併設) 坂本公民館(出口出張所併設)
	ふれあいセンター	上川原ふれあいセンター

9. 島嶼部地域（構成地区：由良、泊、睦野、東中島、西中島、神和）

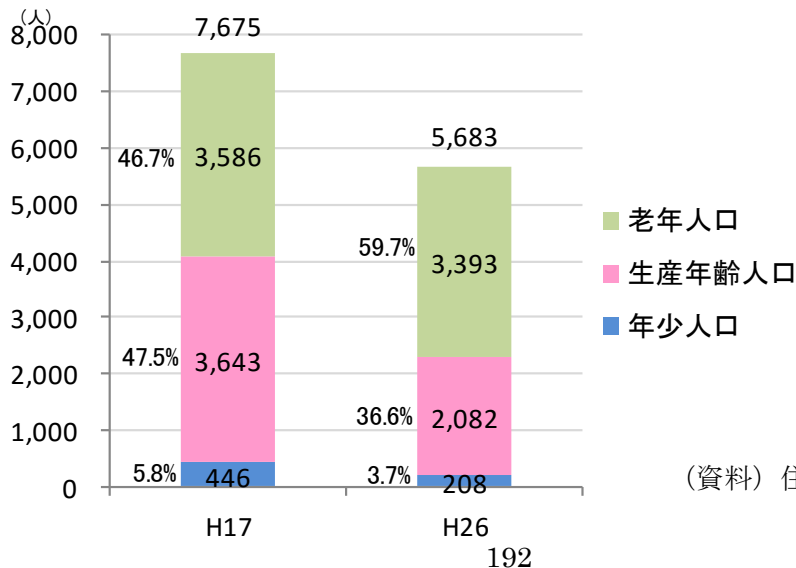
- ・平成17年の市町村合併前の旧中島町全域及び旧松山市の興居島、釣島の島々からなる地域です。瀬戸内海国立公園に指定されるなど、豊かな自然環境に恵まれ、忽那諸島の各島々は三津浜・高浜港等旅客ターミナルと結ばれています。
- ・地域全体で人口が平成7年度から平成22年度にかけて3,000人以上（30%以上）減少しています。また老年人口が約6割に達しており、極めて高い状況にあります。
- ・地域の将来像として「多島美と島文化に囲まれた、のどかな多自然居住のまち」を掲げています。
- ・老年人口割合が高いことから、高齢化に対応したサービス施設の充実のほか、交通手段の維持・提供が求められています。また、海岸部に形成されている漁村集落においては、その良好な景観や豊かなコミュニティを維持しつつ、生活環境の向上を図ることが求められます。

【地区別人口推移】



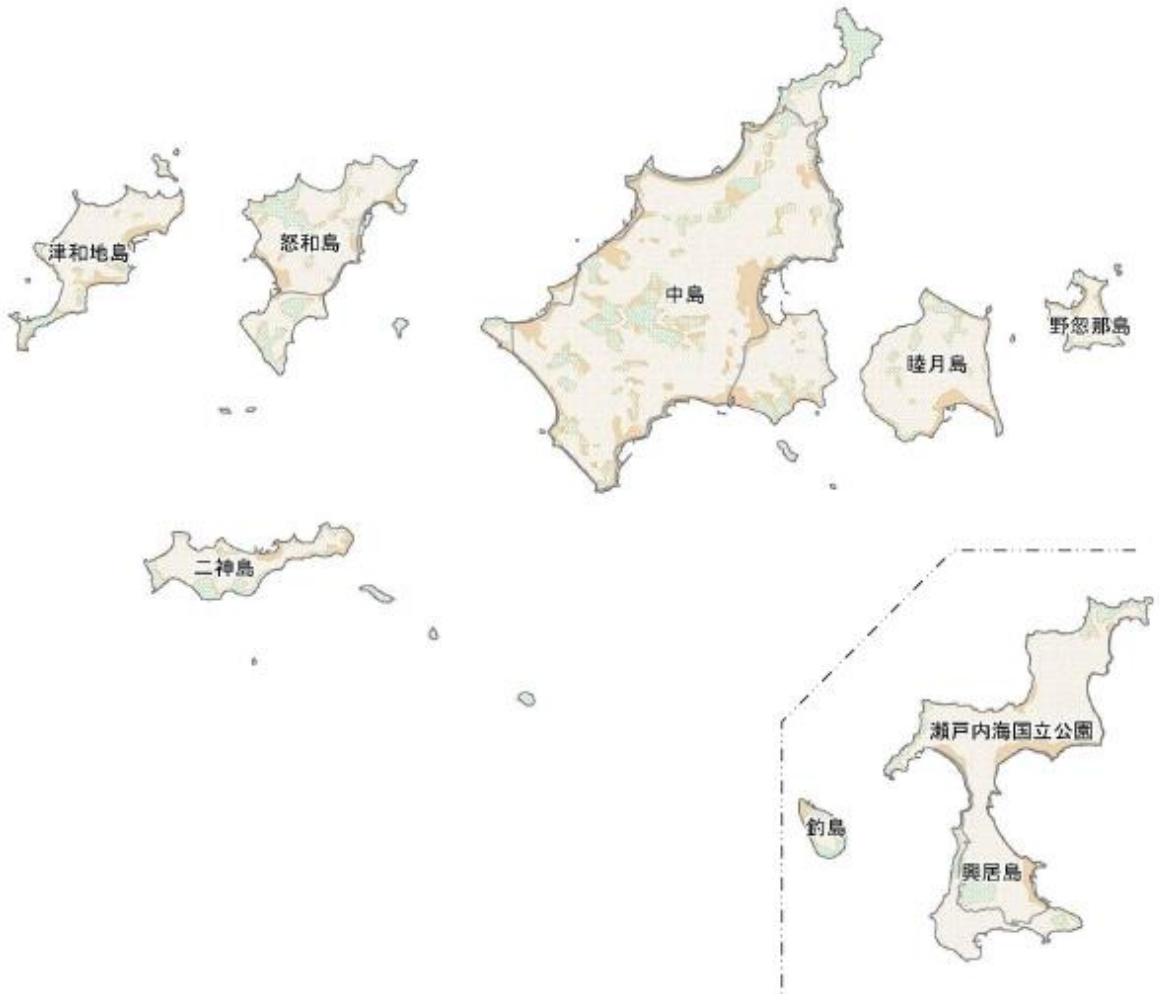
(資料) 国勢調査

【年齢別人口】



(資料) 住民基本台帳登録人口

島嶼部地域のまちづくり方針図



良好な自然環境等の保全と良好な景観形成

良好な田園集落地域の生活環境の向上

凡例	
専用住宅地	都市計画道路 (整備済)
一般住宅地	都市計画道路 (未整備)
沿道複合地	都市計画道路 (事業中)
近隣商業地	その他幹線道路
商業地	高速道路
工業地	JR
空港	私鉄
都市公園	路面電車
都市計画緑地	
風致地区	
森林地域	
農用地地域	
田園集落地域	
都市計画施設	
市街化区域	
都市計画区域界	
地域界	

(資料) 松山都市計画マスタープラン

【当地域に配置されている施設の中で用途別に今後10年間の行動計画の対象となっている主な施設一覧及び配置状況】

施設名	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
中島クリーンセンター	解体予定 (時期未定)									
中島衛生浄化センター	解体予定 (時期未定)									
興居島住宅	解体予定 (時期未定)									
睦月火葬場	解体									
野忽那火葬場	解体									
姫ヶ浜荘	方向性 の検討	→	→	→	→	→	→	→	→	→
中島B&G海洋センター	大規模改修予定		大規模改修予定							

【松山市】		周辺部					
総面積: 429.09km ² 総人口: 514,763人 人口密度: 1,200人/km ²		島嶼部 (面積: 46.49km ² / 人口: 5,144人 / 人口密度: 111人/km ²)					
		由良	泊	陸野	東中島	西中島	神和
		面積: 4.79km ² / 人口: 676人 人口密度: 142人/km ²	面積: 3.91km ² / 人口: 476人 人口密度: 120人/km ²	面積: 1.41km ² / 人口: 339人 人口密度: 241人/km ²	面積: 1.41km ² / 人口: 1,087人 人口密度: 771人/km ²	面積: 1.41km ² / 人口: 333人 人口密度: 236人/km ²	面積: 1.41km ² / 人口: 820人 人口密度: 582人/km ²
広域対応施設	庁舎等	【興居島支所】 H9年/256m ²			【中島支所】 S50年/2289m ²		
	消防施設						
	環境関連施設				【中島リサイクルセンター】 H16年/2154.98m ² 【中島衛生浄化センター】 S62年/558.4m ²		
	文化施設		【釣島灯台吏員退息所】 明治6年建設 平成10年3月(復元工事完成) /252.82m ²		【中島総合文化センター】 H12年 /9299m ² (図書館含む)	【懐古館】 不明(修築は昭和49年) /118m ²	
	観光施設				【姫ヶ浜荘】 S55年/1167m ²		
	スポーツ・レクリエーション施設				【中島B&G海洋センター】 S59年/2860.88m ²		
	公園施設						
	図書館				【中島図書館】 H12年/484m ²		
	福祉関係施設	【興居島診療所】 H6年/270m ²		【野忽那火葬場】 S19年/30m ² 【陸月火葬場】 S21年/57m ² 【怒和診療所】 H13年/82.15m ² 【陸月診療所】 H3年/101.03m ² 【野忽那診療所】 S63年/72.9m ²	【中島斎場】 H24年/887m ²		【二神診療所】(高津島診療所内) S56年/74m ² 【津和地診療所】 H20年/107.65m ²
	地域対応施設	幼稚園					
小学校		【興居島】 S60年/504m ²	【釣島分校】(H24.4から休校) S60年/357m ²	【野忽那】(H21.4から休校) S40年/1365m ² 【陸月】(H21.4から休校) S44年/2311m ²	【中島】 H21年/3103m ²	【怒和】 S38年/2533m ²	【津和地】 S36年/2062m ²
中学校		【興居島】 S57年/3675m ²			【中島】 S44年/4796m ²		
教員住宅			【釣島】(釣島分校) S56年/12m ²	【沢の口】(陸月小学校) S55年/352m ² 【野忽那】(野忽那住宅) S52年/219m ²	【汐入】(中島小中学校) S58年/1276m ² 【神浦】(中島小学校) H5年/200m ²	【船越】 H7年/118m ²	【元怒和】 S82年/290m ²
寮					【中島中学校寄宿舎青潮寮】 H25年/498.93m ²		【二神】 S41年/176m ²
共同調理場							【元怒和保育所】(休園中) S62年/150m ² 【津和地保育所】(休園中) S60年/102m ² 【二神保育所】(休園中) S61年/71m ²
住宅							
福祉関係施設							
子育て施設		【もものはな】 S51年/451m ²		【陸月保育所】(休園中) S47年/125m ² 【野忽那保育所】(休園中) S63年/72m ²	【中島】 S56年/544m ²		
観光・文化施設		【由良】 H9年/718.18m ²	【泊】(泊出張所併設) S44年/427.5m ²		【中島】(中島総合文化センター内) 【中島ふれあいセンター】 H6年/1937m ²		
住宅		【興居島】(除却予定) S30年/56m ²		【山神】 H6年/538m ²			
駐輪場・駐車場							
市場							
その他			【シーサイドの里】 H13年/140m ² 【島四国の里】 H16/100m ²	【中島港待合所】 S54年/571.1m ²		【南島の里】 H13年/110m ² 【茶屋の里】 H13年/140m ² 【海の恵みの里】 H13年/107m ²	

【築年別凡例】

記号	2016年(平成28年)時点
■	築45年以上(昭和46年以前)
■	築35年以上45年未満(昭和47年~56年)
■	築25年以上35年未満(昭和57年~平成3年)
■	築15年以上25年未満(平成4年~13年)
■	築5年以上15年未満(平成14年~23年)
■	築5年未満(平成24年以降)
■	避難所指定
□	複合化施設

【規模別凡例】

記号	面積
■	~ 100m ²
■	101m ² ~
■	301m ² ~
■	501m ² ~
■	1,001m ² ~
■	3,000m ² ~
■	6,001m ² ~
■	10,000m ² ~

*表内の記号は、全体をページ内に収めるため拡大・縮小しているため大きさが違う場合があります。

大分類	中分類	小分類		
庁舎等	支所	興居島支所 中島支所		
環境関連施設	ごみ処理施設 し尿処理施設	中島リサイクルセンター 中島衛生浄化センター		
学校	小学校	興居島小学校 釣島分校(H24.4から休校) 陸月小学校(H21.4から休校) 野忽那小学校(H21.4から休校) 怒和小学校 津和地小学校 二神小学校(H21.4から休校) 中島小学校		
		中学校	興居島中学校 中島中学校	
	教員住宅	寮	釣島住宅(釣島分校) 沢の口住宅(陸月小学校) 野忽那住宅(野忽那住宅) 汐入住宅(中島小中学校) 神浦住宅(中島小学校) 上怒和住宅(怒和小学校) 元怒和住宅(怒和小学校) 船越住宅(怒和小学校) 津和地住宅(津和地小学校) 二神住宅(二神小学校)	
			共同調理場	中島中学校寄宿舎青潮寮 興居島学校給食共同調理場 中島学校給食共同調理場
			住宅	市営住宅 山神
	福祉関係施設	診療所	興居島診療所 津和地診療所 二神診療所 野忽那診療所 陸月診療所 怒和診療所	
		斎場	中島斎場 陸月火葬場 野忽那火葬場	
	子育て施設	保育園	もものはなこども園 中島こども園 陸月保育所(休園中) 元怒和保育所(休園中) 津和地保育所(休園中) 野忽那保育所(休園中) 二神保育所(休園中)	
			観光・文化施設	図書館 文化施設 史跡・文化財等 観光施設等
	スポーツ・レクリエーション施設	体育施設	中島B&G海洋センター	
公民館等	公民館	泊公民館(泊出張所併設) 由良公民館(興居島支所併設) 中島公民館		
	ふれあいセンター	中島ふれあいセンター		
その他 市民利用施設	港湾関係	中島港待合所 シーサイドの里 陶器の里 茶屋の里 海の恵みの里 島四国の里		

第6章 個別再編成実施に当たっての考え方

第6章では、これまでに整理してきた課題認識、基本方針、用途別、地域別の実態把握等を踏まえ、再編成検討に当たっての基本的姿勢や目標設定と実施へ向けたサイクル、検討手順、実施フローを整理しています。

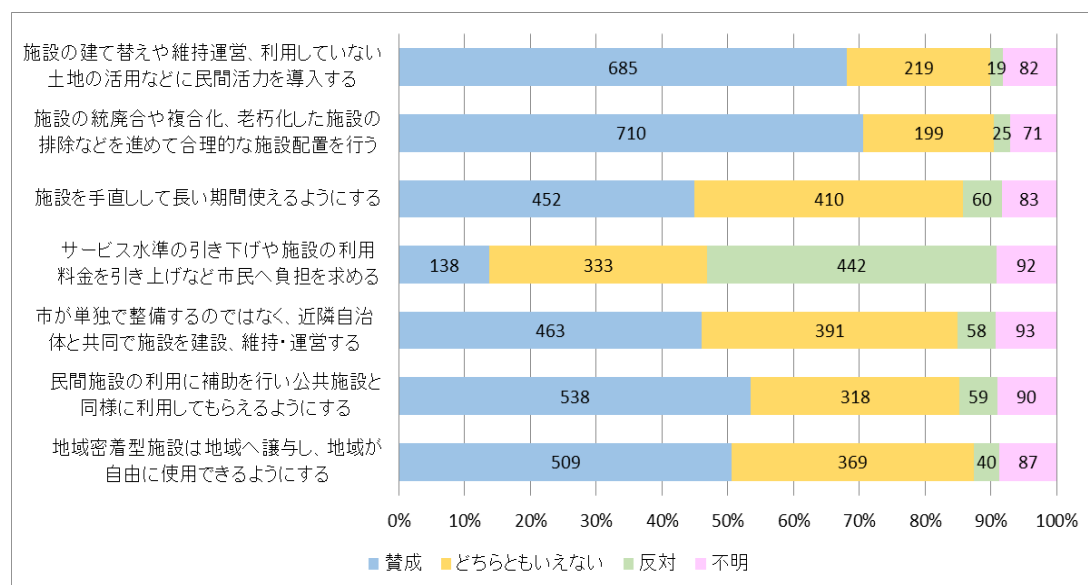
1. 再編成検討に当たっての基本的姿勢

公共施設に関する市民意識調査において、公共施設マネジメントの取組みとして考えられる主な内容に対する賛成、反対の意向を確認したところ、「サービス水準の引き下げや施設の利用料金の引き上げなど市民へ負担を求める」ことについては、反対の方が一番多いという結果になりましたが、それ以外の選択肢については多少の違いはあれ、賛成とする人の割合が最も高いという結果となりました。これは、市民の皆さまが、公共施設マネジメントの取組推進については、概ね賛成していただいているということ、そして実際の取組みに当たっては多様な手法がありえることを認識いただいているということだと考えています。

そこで、再編成の検討に当たっては、次の5点を基本的姿勢として掲げ、それぞれの施設やサービスを巡る状況を踏まえつつ、柔軟に対応することとします。

参考資料：平成27年度松山市の公共施設に関する市民意向調査

設問：すべての公共施設を維持することが難しくなると考えられます。「安全で安心な公共施設の提供」を図りながら、将来の市民ニーズに対応した施設整備を行うためには、どうしたら良いと思いますか。賛成/どちらともいえない/反対の中からあなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。



(1) 施設保有量の最適化や維持管理運営方法の効率化による費用の縮減

施設保有量の最適化については20%以上削減するという目的を掲げ、用途別や地域別の分析内容に基づき、施設総量の最適化を進めていきます。さらに、施設のトータルコストや利用状況を的確に把握し、課題のある施設については、利用者や地域の方と協議し対策を講じてもなお改善が見られない場合には、統廃合など合理的な施設設備を行います。なお、前掲した市民意識調査においても710人(70.6%)の方が賛成を表明しており、合理的な施設配置の必要性が高く認識されているものと考えています。

	賛成	どちらとも いえない	反対	不明
施設の統廃合や複合化、老朽化した施設の排除などを進めて合理的な施設配置を行う	710(70.6%)	199(19.8%)	25(2.5%)	71(7.1%)

(2) まちづくりと連動した再編成の推進

本計画では、松山市都市計画マスタープランにおける9つの地域区分に沿って地域の状況等を整理しています。これは、そもそも本市が長期的視点にたった都市の将来像をどのように考え、その実現に向けてどうしていこうとしているのかを示す都市計画マスタープラン等の計画と、個別の公共施設に対する取組みの方向性が合致していることが不可欠だからです。

さらに、市民の皆さまがどういった施設を求めているのかを用途別に検討し、地域にその方針を反映した際には、個別施設を取巻く現状や、地域の状況等に応じてまちづくりの方向性と連動しながら進めていきます。都市計画マスタープランにおいて掲げている生活拠点を核とした生活利便性の高いコンパクトな都市形成等を進めるためにも、場合によっては施設の利用を支援するための交通ネットワークの整備等、ハードとソフトの両面から公共施設の再編成を検討していきます。

(3) 災害時の対応等も踏まえた安全・安心な施設再編成

公共施設は通常の利用に加えて、災害時には避難所として人々の安全安心を支える役割も担っています。公共施設の配置等については、例えば南海トラフや日向灘沖を震源とする地震が発生した際の津波による高潮被害の想定等、非常時の対応も考慮して施設を再編成します。

(4) 市民との協働

公共サービスの利用者として、原資となる税金の負担者として、また地域における施設の管理者として等、公共施設に関連して市民の果たす役割は多様かつ大きなものです。今後の公共施設再編成の具体化に係る議論への参画等、より主体性を持って市民が関われる環境の整備を進め、市民との協働による公共施設の運営を進めていきます。

なお、前掲した市民意識調査においても509人(50.6%)の方が賛成を表明し

ており、半数程度の方からは地域への譲渡も含めた協働体制の構築について前向きな回答が得られています。実施に当たっては実際に取り組みを進めるに当たっての不明点の解消等、地域住民の皆さまとの協議を踏まえて、体制整備から実施へと段階的に進めていきます。

	賛成	どちらとも いえない	反対	不明
地域密着型施設は地域へ譲与し、 地域が自由に使用できるように する	509 (50.6%)	369 (36.7%)	40 (4.0%)	87 (8.7%)

(5) 民間活力の活用

民間活力の活用は、民間への施設譲渡や維持管理、運営面での委託等による効率化に加えて、PFI事業等、民間の経営ノウハウや技術力、資金を活用した官民協働事業の活用など、公共サービスの効率的かつ効果的な提供に資するものです。今後もそうした取り組みについて、さらに弾力的な検討を重ね、より望ましい公共サービスの提供を進めていきます。なお、前掲した市民意識調査においても685人(68.2%)の方が賛成を表明しており、民間活力の導入の必要性、有効性は認識されているものと考えています。

	賛成	どちらとも いえない	反対	不明
施設の建て替えや維持運営、利用 していない土地の活用などに民間 活力を導入する	685 (68.2%)	219 (21.8%)	19 (1.9%)	82 (8.2%)

2. 目標設定と実施サイクル

(1) 用途別、段階別の目標設定

今後50年間で施設量を20%削減するためには、現在152万㎡ある一般会計の施設を、約30万㎡削減し、122万㎡まで圧縮する必要があります。このため、全ての用途で複合化・集約化や統廃合、民間活用などの推進が必要です。さらに、施設量削減だけでなくコスト削減も不可欠です。

しかし、公共施設の用途・規模・社会的ニーズは様々であり、全ての施設を一律に20%削減することは出来ません。このため、基本的には20%以上の削減を目指しますが、現時点で大幅な削減の方向性を出すことが難しい市営住宅、インフラ施設、消防施設については暫定的に最低限5%以上の削減を目標とし、子育て施設は当面現状を維持することとします。これにより、不足する施設量は学校及び庁舎の施設量の適正化において25%以上の削減目標を掲げ、さらに他の施設の合理化等により補います。

用途	施設割合	主な方向性	用途別削減目標	削減量
学校	45%	複合化 適正規模での更新	25%以上の削減	68万㎡→51万㎡ (17万㎡削減)
市営住宅	20%	集約化・民間活用	現時点で大幅削減が困難 最低限5%以上の削減	31万㎡→29万㎡ (2万㎡削減)
スポーツ施設	8%	施設量の削減	20%以上の削減	12万㎡→9.6万㎡ (2.4万㎡削減)
庁舎	4%	施設量の削減 複合化	25%以上の削減	5.8万㎡→4.4万㎡ (1.4万㎡削減)
インフラ施設 (清掃施設・下水施設・公園)	4%	休止中の施設の取壊し 適正規模での更新	13%以上の削減 (現時点で大幅削減が困難。 最低限5%以上の削減+休止中施設の取壊し)	6.0万㎡→5.2万㎡ (0.8万㎡削減)
福祉施設	2%	一部施設の廃止 施設量の削減	20%以上の削減	3.5万㎡→2.8万㎡ (0.7万㎡削減)
消防施設	2%	複合化	現時点で大幅削減が困難 最低限5%以上の削減	2.6万㎡→2.5万㎡ (0.1万㎡削減)
子育て施設	2%	施設量の削減	当面は現状維持	3.3万㎡ (現状維持)
その他の施設	12%	統廃合、複合化	20%以上の削減	18万㎡→14.4万㎡ (3.6万㎡削減)
貸付施設 未利用施設	1%	取壊し	100%削減	2.1万㎡→0㎡ (2.1万㎡削減)
合 計			30万㎡の削減が必要	152万㎡→122万㎡ (30.1万㎡削減)

*将来の人口動態により施設量が左右される施設(学校・子育て・清掃施設等)もあることから定期的に用途別の削減目標は見直すこととします。

また、上記は用途別の目標値ですが、今後50年間を通じて削減を実施する上で、想定される人口の減少割合と、現在ある施設が更新時期である築60年を迎えた際に20%ずつ削減していくことを想定し、各期の目標を次のように設定することとしました。このように、その実情に応じて徐々に進めていくことで、限られた予算の中で、安心して安全な公共施設の提供を維持し続けることを目指します。

期	第1期 (H28~H37)		第2期 (H38~H47)		第3期 (H48~H57)		第4期 (H58~H67)		第5期 (H68~H77)	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
各期の目標	1%以上削減	2%以上削減	6%以上削減		11%以上削減		17%以上削減		20%以上削減	

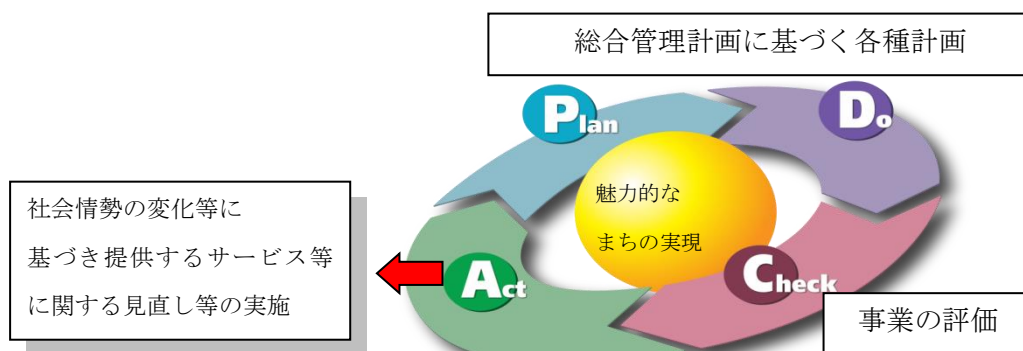
(2) 実施サイクル

本計画は10年ごとに見直しながら進めることとします。なお、前期の最終年である5年目が完了する時点で、中間評価として当該期に実施した内容を評価（Check）し、必要に応じて改善計画を策定（Action）、後期5年間の計画に反映（Plan）します。そして、各期の終了時には10年間全体での目標に対する達成度等の最終評価等を行ったうえで、必要な改善等を次期の実施計画に反映します。

こうしたサイクルを構築することで、結果として5年ごとにその後の直近10年間を対象とした計画の見直し及び策定（Plan）を行ったうえで、計画を実行（Do）、終了時には評価（Check）と改善（Action）を実施することで、5年ごとの継続的なローリングが可能となり、計画の実効性を高めます。なお、そうした評価の際には公共施設再編成の遂行状況はもちろんのこと、人口動態や財政状況についても、その時点までの推移と、実績に基づく今後の将来推計の見直しの必要性等も踏まえて検討することで、より現実に即した計画の遂行が可能となります。

また、直近10年間を対象とした計画の見直し及び策定を通じて、用途別のロードマップを整理することで、予定されている取組みの面的な見える化を図り、地域での具体化へ向けた確認ができるようになります。その確認結果を可能な範囲で実施計画に反映することにより、各地域における状況等についても踏まえた計画が実行できる環境を整備します。

このように、計画の具体化を用途、地域の両方の視点から実施するとともに、実施事項の評価等に基づきより絶えず改善を続けることが本市における本計画の立案、実行にとって不可欠と考えています。



3. 具体化へ向けた検討手順

今後の方向性については、次のような手順で検討します。

(1) 地元や民間へ譲与の可能性を検討

地元管理施設、民間にすべて委託している施設、民間に貸付して事業を行っている施設は譲与を検討します。

(2) 施設としての重要度を検討

施設とそこで行っている事業を分割し、改めて施設の必要性を検討する必要があります。例えば、倉庫として使用している施設は、施設としての重要度は低いため、更新は行わず、空き施設（スペース）を活用することとします。また、事業としては必要であるものの、施設を単独で設置する必要性は低い場合は、周辺にあり拠点となりうる施設との複合化を検討します。

(3) 社会的ニーズ等により削減が難しい場合の検討

現時点で社会的ニーズにより整備を行っている施設については、当面の増加は容認することとします。しかし、少子高齢化の時代を見据えた方向性や、コスト削減、収入増加策などの観点に立ち、例えば必ずしも市が整備するのではなく、民間施設の賃貸等も含めて多角的に検討します。

(4) 施設の建替時に20%以上削減することの検討

基本的に「建替時には、現在の施設量より20%以上削減」することとします。現況の状態で考えると、不可能な施設は多々ありますが、これまでの「拡充」の時代から「縮充」の時代へ変化していることを考慮して考えます。

例えば、施設内設備の見直し、施設内のレイアウトの見直し、複合施設化、民間施設の賃貸等の検討を行います。また、用途別に比較した際に、数十施設あるうち利用率の悪い施設は廃止するなどの検討も必要です。なお、実施に当っては市民の皆さまとの合意形成についても留意して進めます。

(5) 施設特性や整備時期等により削減が難しい場合の検討

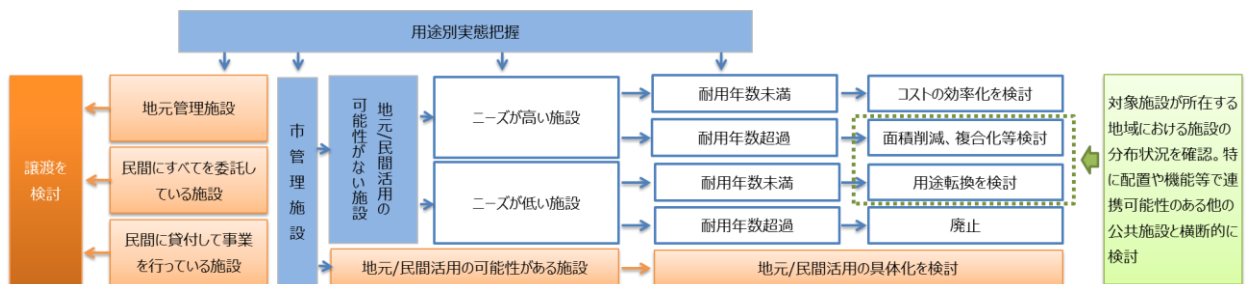
小さな施設やインフラ系施設で20%以上の削減が難しい場合や、最近建築された建物で削減が難しい場合は、基本的にコストの効率化を見据えた予防保全と事後保全の組合せの最適化を進めます。また、特に小さな施設やインフラ系施設については、1施設当たりの基準面積の設定等も検討します。

4. 再編成実施フロー

前述した再編成における今後の方向性に基づき、個別施設について検討するフローについては、主に用途別・地域別の大きな2つの方向からのアプローチに沿って考えます。

(1) 用途別からのアプローチ

用途別に行った施設の実態把握結果に基づき、市の管理から外れている施設については、譲渡を検討します。市が引き続き管理している施設については、まず地元や民間活用の可能性があるかないかを検討した上で、地元や民間活用の可能性がある施設はその具体化を検討します。一方、地元や民間活用の可能性がない施設については、その利用状況等に基づき、ニーズの高さや施設の老朽化の状況を確認し、基本的には大規模改修や更新のタイミングでそれぞれに対応策を検討するとともに、まだ利用可能な施設であってもニーズが低い施設等については、他の老朽化した施設で提供されている用途への転換を図る等、用途横断的に再編成を進めます。



(2) 地域別からのアプローチ

再編成を進める上で、用途別の方向性を踏まえつつ、地域における施設状況を確認し、利用状況等に鑑み、機能面での親和性が高い施設の複合化を考えることも重要です。そこで地域における施設配置を考える場合、前述したように広域対応施設と地域対応施設とに大きく分けることができますが、さらに地域対応施設の中でも、例えば松山市の都市マスタープランにおける9地域など、一定のエリアに1つは必要な施設と、身近な場所に1つあればよいと思う施設とに分けることができます。

そうした利用頻度等に応じた自宅からのアクセスの確保等を考え、機能面から見て比較的親和性が高い施設等について、個々の地域での老朽化状況や利用状況等を確認し、合理的に複合化や用途転換等を進めることで、必要なサービスの提供を維持しつつ、施設総量の効率化も図ることが可能となります。

なお、実際に本計画の推進に当たっては、用途別の方針に基づくロードマップの内容を地域ごとに整理することで、各地域における今後の施設の再編成の方向性が把握できます。その内容を踏まえ、地域ごとの施設の配置や人口、さらにその構成等の現状を把握し、施設に係る今後の方向性が地域において受け入れられるものか、移動手

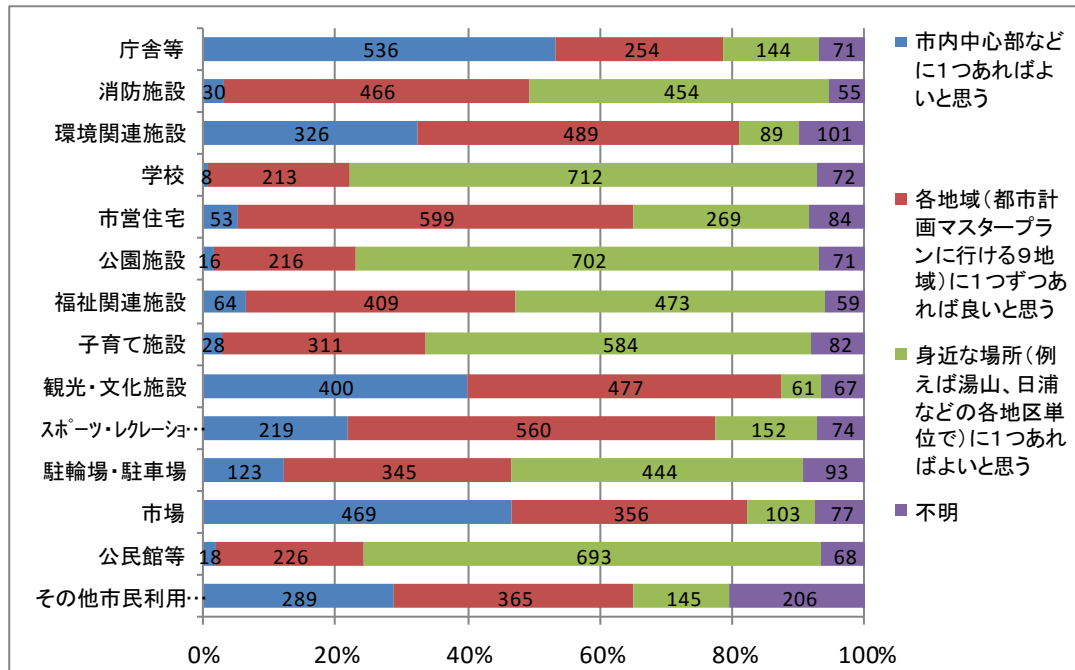
段の確保等、施設とその運用の両面から検討し、計画へフィードバックする必要があります。

また、そうした検討に当っては、地域住民への説明会やワークショップ等の実施により意思疎通を図りながら進めることが重要と考えています。

施設分類	主な機能等
広域対応施設	
庁舎等	事務室、議場、ロビー、会議室等
消防施設	事務室、通信指令室、仮眠室、会議室、待機室等
環境関連施設	展示室・研修室・事務所・調理室・シルバー人材センターの活動拠点
福祉関係施設	会議室、交流室、相談窓口、事務室、相談室等
公園施設	公衆トイレ、休憩所等
観光・文化施設	会議室、事務室、閲覧室、展示室、研究室、講堂、ラウンジ、応接室、茶室、和室、イベントホール等
スポーツ・レクリエーション施設	体育館、プール、会議室、各種ホール、多目的運動広場、グラウンド、球技場、テニスコート、野外活動センター等
駐輪場・駐車場	駐輪場、駐車場
地域対応施設	
各地域対応施設	
市営住宅	住居、集会所、駐車場
各地区対応施設	
学校	普通教室（普通・特別支援）、特別教室（理科・音楽・図工 他）、管理諸室（校長室・職員室・保健室 他）
子育て施設	集会室、遊戯室、図書室、生活室、静養スペース、トイレ、台所設備、
公民館等	会議室、和室、調理室、事務室、図書室、事務所・倉庫

参考資料：平成27年度松山市の公共施設に関する市民意向調査

設問：それぞれの施設の配置についてどのように考えますか。施設ごとにあなたの考えに近いものを1～3の中から1つ選んでください。



この調査結果から、自宅等から考えた時に、どのぐらいの距離に各施設が必要なのかは異なることがわかります。なお、概ね前述した広域対応施設、地域対応施設(各地域対応施設/各地区対応施設)の分類と同じ傾向にあります。広域対象とした消防施設、環境関連施設、スポーツ・レクリエーション施設などは「各地域に1つずつあればよいと思う」とする回答が多い結果となりました。また消防施設は各地域に1つずつあればよいと思う人と身近な場所に1つあればよいと思う人がほぼ同数であるなど、同じ用途の中でも様々な規模の施設がある場合は回答が分かれているものと考えられます。従って、実際の検討に当たっては用途によって一概に判断するのではなく、個々の施設の規模やその位置づけに適した配置を考える必要があります。

(3) 固定資産台帳等との連動

本市においては、総務省から通知のあった統一的な基準による財務書類(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)の作成を進めています。この財務書類を作成するためには、固定資産台帳整備が必須であることから現在所有する全資産の台帳整備を行っているところです。台帳整備後は、インフラ施設を含めた様々なデータの集約が可能となることから、公共施設の再編成を効果的に進めると

ともに、市民の皆さまへの分かりやすい説明にも活用していきます。

同時に、将来の施設更新必要額の推計や施設別のコスト分析なども固定資産台帳の情報をもとに本市の全資産について把握することが可能となります。財政状況の確認と合わせたより総合的かつ長期的な視点に基づく計画の見直しなどにも活用していきます。

公会計関連のデータで再編成検討のために活用可能な項目は次のとおりです。

財務関係書類	説明	公共施設の再編成に活用可能な項目
貸借対象表 (バランスシート)	貸借対照表は、会計年度末(基準日)時点で、どのような資産を保有しているのかと(資産保有状況)、その資産がどのような財源でまかなわれているのかを(財源調達状況)、対照表示した書類	減価償却累計額 ⇒資産老朽化比率 住民一人当たり資産額 歳入額対資産比率 等
行政コスト計算書	一会計期間において、資産形成に結びつかない経常的な行政活動に係る費用(経常的な費用)と、その行政活動と直接の対価性のある使用料・手数料などの収益(経常的な収益)を対比させた書類	減価償却費 引当金 等
純資産変動計算書	貸借対照表の純資産の部に計上されている各項目が、1年間でどのように変動したかを表す書類	資産の変動状況 等
資金収支計算書 (キャッシュ・フロー計算書)	一会計期間における行政活動に伴う現金等の資金の流れを性質の異なる三つの活動に分けて表示した書類	維持管理運営収支 規模の小さい改修工事費 等
固定資産台帳	固定資産を、その取得から除売却処分に至るまで、その経緯を個々の資産ごとに管理するための帳簿で、所有するすべての固定資産(道路、公園、学校、公民館等)について、取得価額、耐用年数等のデータを網羅的に記載した書類	施設別、棟別の資産の状況 等
施設管理等に係る各種台帳	施設の管理等に係る各種情報を整理した台帳。施設の概要や補修履歴、点検や診断の結果、更新計画等を記載	施設別、棟別の施設の 詳細状況(利用状況等を含む) 部位別の状況把握による改修或いは改築の優先順位付け 等

多様な公共施設を対象としている再編成の取組みですが、上記のように、貸借対照表に基づき各資産の減価償却累計額の割合を算出し、資産老朽化比率を算定する、住民一人当たり資産額や歳入額対資産比率といった資産形成度に係るその他の指標を設定する、といったことで用途横断的に統一した指標に基づき比較することができます。その結果、優先順位の検討とそれに基づくメリハリのある予算編成が可能になるとも考えています。

また、上記のようなデータが全資産について整備されることで、従来は建設費用のみに注目しがちであった施設整備についても、大規模修繕費等を含めたライフサイクルコストの議論を行うことが可能となり、より長期的な視点に立った判断が可能となります。以上のような様々な観点から、固定資産台帳と適切に連動しながら進めることは、公共施設の再編成を効率的かつ効果的に進める上で不可欠です。

さらに、固定資産台帳に加え、行政コスト計算書等を同時に整理することにより、例えば光熱水費や資産として計上されないような規模の改修工事等を含めた、より総合的なコストの把握が可能となり、これらの情報を踏まえ、公共施設の再編成を進めることも重要になります。さらに、施設管理等に係る各種台帳等を活用することで、利用状況等も確認できるため、例えば用途別、地域別の観点から共同利用の可能性等、施設の組合せ等を検討し、複合化を進めることも可能になります。

一方で、公会計データを用いた施設単位でのコストの把握や各種管理台帳との整合には整理番号の統合等、工夫が必要です。管理台帳等の整備とも足並みをそろえ、本市全体としてより効率的な公共施設マネジメントの取組みを進めていきます。

第7章 実施体制

第7章では、本計画実施に当たっての体制を整理しています。

1. 市民との対話

施設量の削減へ向けた複合化や集約化等の推進に当たっては、公共施設の現状と課題について説明し、理解を醸成しながら進めていくことが不可欠です。そのためには例えば説明会等を開催し、その理解を得た上で進めていく、さらに、問題意識を共有しながら、その地域に合った施設の複合化・集約化のあり方を一緒に考えるためワークショップ等を開催し検討を行うなど、市民の皆さまと対話しながら進めることが重要です。このように市民や利用者と協働しながら進めることで、市民サービスの質の向上に努めつつ、財政的に可能な範囲で「安心で安全な公共施設の提供」を維持します。

2. 庁内体制の整備

(1) 事前協議制度の実施

建替や改修を行う際には、全庁的な観点から公共施設マネジメントを推進するため、管財課が施設所管課の支援を行う事前協議制度を実施します。

(2) (仮称) 公共施設マネジメント推進委員会・推進部会の設置

施設整備の構想や計画段階で、公共施設マネジメントの取組みを全庁横断的に推進にするため、庁内に「(仮称) 公共施設マネジメント推進委員会・推進部会」を設置し、専門家によるサポートを受けながら最適な手法を選択します。